

# この おらたいた

1976



# 八日市商工名鑑

1976



八日市商工会議所

---

## 目次

“伸びゆく八日市、全市航空写真”	2
発刊のあいさつ	4
発刊のことば	5
発刊によせて	6
八日市市の概観	8
商工業の概況	8
観光	18
物産	23
八日市商工会議所の概要	
商工会議所会館全景写真	27
八日市商工会議所歴代会頭	28
八日市商工会議所役員	29
商工会議所20年の歩み	30
商工会議所事業概要	31
八日市の商業	34
八日市の工業	36
企業同和のあり方	37
「八日市商工会議所の未来像」	38
「地元商店街の展望」	
八日市商工業の今昔	41
商工業者名簿・協賛広告	51
八日市商工会議所役員・議員・顧問	307
八日市商工会議所歴代議員任期一覧表	315
八日市商工会議所20周年記念式典	319
編集後記	324

---

# 神戸八市



## 発刊のあいさつ



八日市商工会議所創立20周年の記念事業の一環として記念誌を発刊するにあたりご挨拶申し上げる機会を得ましたこと誠に光栄に存じます。

顧みますとき、古来より八日市は、市場町として琵琶湖の東、湖東平野の中央に位置し、この地域における物資の集散地として、また産業文化の中心地として孤立的、閉鎖的ながら独自の経済社会を形成してまいりました。

戦後特にこの20年は、まさに激動の時代であり、この八日市地域も例外ではあり得ず、平穏な古き良き時代は激流の彼方におし流されました。

特にモーターゼーションの普及発達はめざましく、名神高速道路八日市インターチェンジが開設され、続々と大企業が、次々と大型スーパーが進出してまいりました。

今日、日本経済が世界経済の渦中にあることを考えます時、私共八日市におけるすべての事業所も日本経済ひいては世界経済の渦中にあるといっても過言ではないでしょう。

八日市市には現在この名鑑にご紹介いたしておりますとおり、2,000に及ぶ事業所が活動を続けております。

この記念誌は、八日市の歴史、商工会議所20年の歩み、さらにはその現状をご紹介申し上げることを主たる目的としておりますが、同時にこの大きく、激しく、厳しい今後の経済社会に新しい自覚と勇気をもって、雄々しく立ち向わんとする決意の連判状でもあります。

どうか親しくご高覧下さいませようお願い申し上げます。

終りになりましたが創立以来20年、今日の八日市商工会議所を築きあげていただきました諸先輩に対し深い敬意を捧げます。

また、この記念誌発刊にあたり、絶大なるご協力、ご尽力を下さいました多くの方々に対し心より感謝いたします。

八日市商工会議所会頭

福原 憲治

## 発刊のことば



八日市商工会議所創立20周年にあたり、記念事業の一つとして躍進八日市と題する記念誌を発刊することになりました。

我が八日市市は湖東平野の中心に位置し、古くは聖徳太子により開市せられたと伝えられております。また近江商人発祥の地として史実に現われるのは、鎌倉時代からで、当時有名なものとして、山越、五個、保内商人等のグループが存在し、隊商として、近畿、北陸一円において活躍したと古文書に記されております。

鉄道の開通にともない、当地は沿線よりわずかに隔ったためともすれば発展が一時期停滞した感がありましたが、名神高速道路の開通、八日市インターチェンジの設置とトラックによる貨物の輸送形態の変化にともない、企業の進出も著しく、その経済活動は旺盛にて商工業の中心として躍動を続けております。

加えるに、行政面においても滋賀県中部広域圏の中心として、その面目を一新しつつあり、誠に前途洋々たる展望であり、かかる時当商工会議所の使命も重大であると痛感致しております。

本誌作成に当っては、躍進する八日市商工業の現況と古い歴史を有する当地方の豊かな文化財と観光資源を広く紹介し、あわせて湖東地方20万人の商工業の中心としての八日市市の発展と商圏拡大の一助ともなれば望外の喜びと存じます。

編纂に際し、もとより浅学非才の私共委員でございますのでお見苦しい点御寛恕賜わりますようお願い申し上げます。

今回の記念事業実施に当り、各方面より深いご理解とご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。

20周年特別委員会委員長

前川 恕



## 発刊によせて

「調和ある安定成長経済」を目指してあらたな道を歩みはじめ  
ておりますわが国の経済の中にあつて、中小企業が直面して  
おります問題は、ますます複雑多岐にわたつてきております。

とくにこの厳しい経済環境に耐えうる企業体質への転換の必  
要性が時代の要請として登場してきています。

県といたしましても、今後これらの問題に対処するため皆様  
のご協力を得ながら均衡のとれた商工業振興策を強力に推進し  
てまいりたいと考えております。

このようなときに、本県中部地域の一大商業拠点として目覚  
ましい発展をとげられた八日市商工業の先導的役割を果たして  
おられる八日市商工会議所が、関係のみなさま方のご努力により  
創立20周年記念事業の一環として「八日市商工名鑑」が発刊さ  
れますことは、たいへん時宜を得たものとして深く敬意を表  
します。

この名鑑が皆様方の十二分なご活用により、今後の商工業発  
展の一助となりますことをお祈りいたしましてお祝いの言葉と  
いたします。

滋賀県知事

武村正義



## 発刊によせて

八日市市は、昨年市制施行20周年を迎えた清新気鋭の市であ  
り、湖東地区における商工業、文化、教育の中心都市として、  
市民各位の英知と努力により数々の苦難をのり越え、着実な成  
長をして参りました。

本市はまた、長い歴史と伝統をもつ市場町としての商業活動  
を中心に、各産業の進展もめざましく経済活動はきわめて旺盛  
であります。

今後もより一層の商工業の発展とともに、行政ニュータウン  
の整備、卸売市場等の拡大充実など産業基盤の整備に併い、本  
市の将来は大いなる躍進が期待されています。

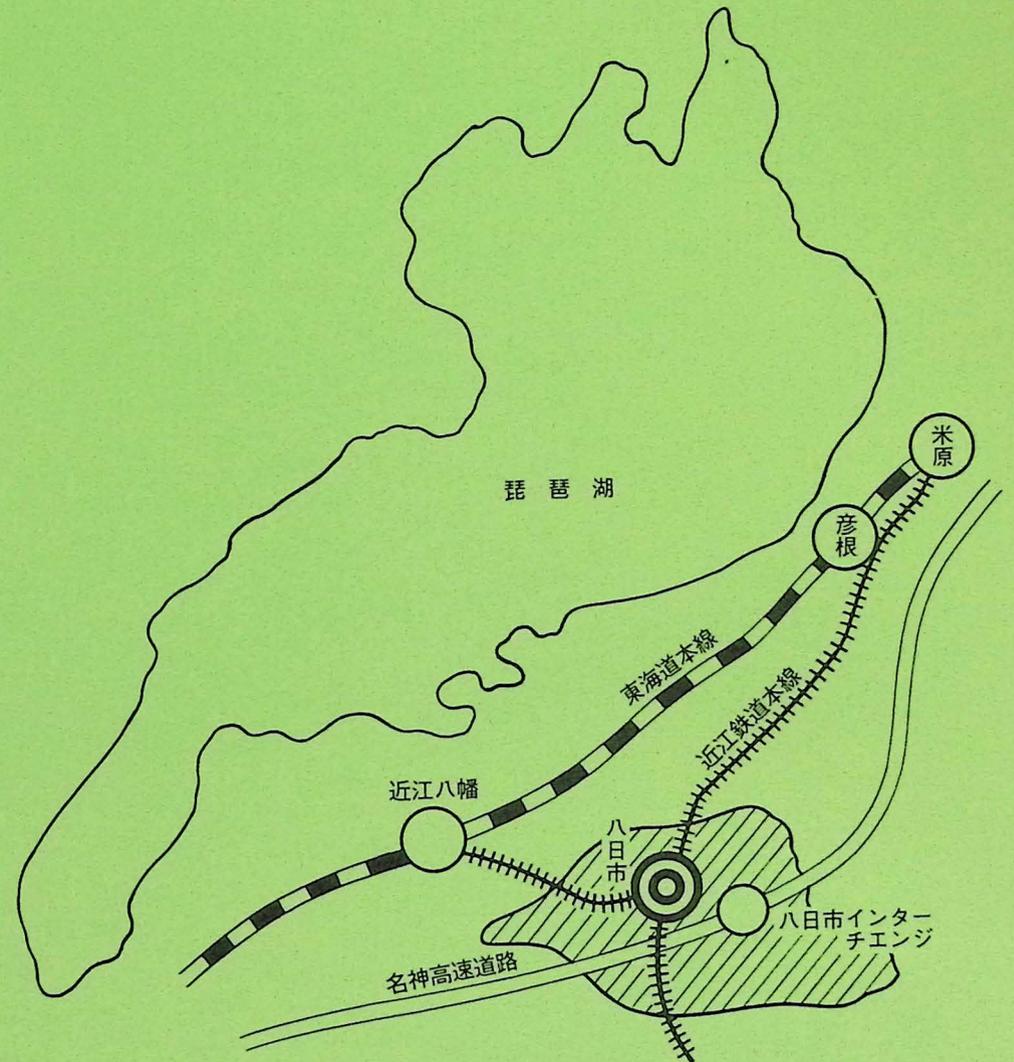
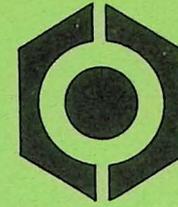
この時にあたり、「八日市商工名鑑」が発刊され、本市商工業  
界が全国で紹介されますことは、まことに時機を得たものと存  
じますとともに、発刊に際してご協力された方々に深い敬意を  
表する次第であります。

今後とも商工業界各位のご努力により、ますます市勢発展に寄  
与されますよう念願してごあいさつと致します。

八日市市長

山田正次郎

# 八日市市の概観



# 八日市市の概観

八日市市は琵琶湖東部平野の中央に位置し、広大な鈴鹿の山脈を背にひかえ、その昔額田王と大海人皇子のラブロマンスがあった静かな田園都市である。八日市市は、その名の通り、古くは聖徳太子の開市にその源を發し、以来湖東平野における経済圏の中核的都市として躍進を続けております。とくに最近においては、名神高速道路のインターチェンジ設置により更に東西交通の交叉点として、あらゆる分野に飛躍的な発展が期待されています。幾多の史蹟、名勝の歴史的なたたずまいの中に新しい街づくりのいぶきが感じられ、自然と調和した平和で豊かな、福祉都市の実現をめざしております。

人口………34,722人(S 51. 2. 1現在)  
 男 16,952人 女 17,770人  
 世帯数……… 9,114世帯  
 面積……… 53.19km<sup>2</sup>  
 市制施行………昭和29年8月15日  
 滋賀県下第5番目の市制を施行  
 市章………昭和29年11月制定  
 本市の市章は昭和29年11月に制定されたもので、六角形は佐々木六角の領地をシンボライズし、その中へ八日市の八日を充填単純化したもので、白い輪は円満和合を現わしている。

## 八日市の移り変り

年代	郷土史の事項	年代	郷土史の事項
(大和時代)		1879	郡役所八日市に置かれる
601	聖徳太子、八日市々場を開くと伝える	1889	町村制実施され、八日市町5カ字となる
668	天智天皇蒲生野に狩猟		初代町長 福原維淳就任
669	百済人を蒲生野に置く	1898	近江鉄道初めて八日市一彦根間開通
(平安時代)		(大正時代)	
803	桓武天皇蒲生野に行幸	1921	八日市飛行隊おかれる
891	瓦屋寺再建される(東大寺三綱記)	(昭和時代)	
(鎌倉時代)		1954	町村合併促進法により八日市町と中野村が合併(3月21日)
1190	頼朝、小嶋の館に宿泊する、この頃、近江商人おこる。	29. 8. 15	八日市町、平田村、市辺村、建部村、玉緒村、御園村が合併し、県下第5番目の市制を施行
1308	佐々木頼綱、愛知川の水を引き筏川を改修する	29. 9. 24	初代市長に山田治右衛門氏就任
(室町時代)		39. 4. 12	名神高速道路八日市インターチェンジ開通
1438	得珍保内に八日市の名が出る(日吉文書)	45. 9. 2	中部地域広域市町村圏発足
1508	八日市商人の伊勢通商負担	47. 2. 15	八日市市基本構想議決される
(安土桃山時代)		48. 6. 25	行政ニュータウン起工式
1576	建部油座 信長朱印(福原文書)	48. 10. 4	全国はじめて「自転車都市宣言」をおこなう
(江戸時代)		48. 12. 28	新都市計画法による線引きが告示される
1674	八日市を御代参街道の宿駅とする		
1771	日野商品仲間定宿印帳に八日市油座の名		
1772	市辺村、和平治たばこの種子を栽培と伝える		
(明治時代)		(注)	「滋賀県八日市町史の研究」聖徳中学校郷土研究会(昭和26年刊)年表より抜すい
1872	区制がひかれ、八日市・浜野・川合寺第6区に編入		

## 人口

### 八日市市の人口と推移

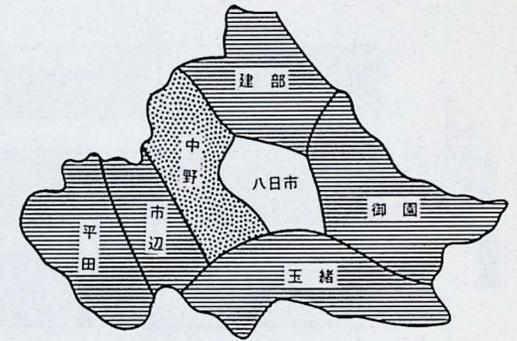
年別	人口	世帯数
大正9年	22,362	………
14年	23,536	………
昭和5年	24,717	5,175
10年	25,503	5,290
15年	25,412	5,233
22年	31,341	6,466
25年	31,100	6,411
30年	30,486	6,326
35年	29,844	6,534
40年	29,437	6,808
41年	29,491	6,829
42年	29,866	7,023
43年	29,962	7,079
44年	30,212	7,205
45年	30,433	7,389
46年	31,324	7,718
47年	31,989	7,759
48年	33,046	8,318
49年	33,910	8,902
50年	34,478	9,049

注…大正9年～昭和40年国勢調査による昭和41年以降住民基本台帳による。(各年10月1日現在)

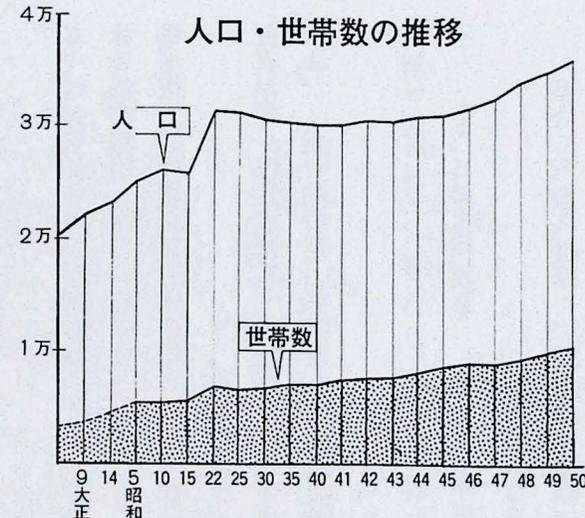
### 八日市市の地区別人口及び世帯数

地区別	世帯数	人口		
		男	女	計
平田	655	1,438	1,555	2,993
市辺	893	1,868	1,968	3,836
中野	1,557	2,853	3,076	5,929
八日市	2,757	4,650	4,991	9,641
建部	789	1,461	1,521	2,982
御園	1,413	2,573	2,440	5,013
玉緒	815	1,703	1,796	3,499
計	8,879	16,546	17,347	33,893

資料 民生部市民課(S 49. 10. 1現在)



旧八日市町
昭和29年3月合併
昭和29年8月合併



### 解説

本市の人口は市制施行当初は30,000人を超えていたが、漸次減少をたどり昭和40年には29,500人を下回るほどであった。その後、昭和38年以降の他府県からの工場進出により次第に増加傾向を示し、昭和40年から45年の5年間に3.4%増加し、昭和45年から昭和50年の5年間は、13.29%と顕著に増加し、年平均800人強の伸びを示した。

# 事業所

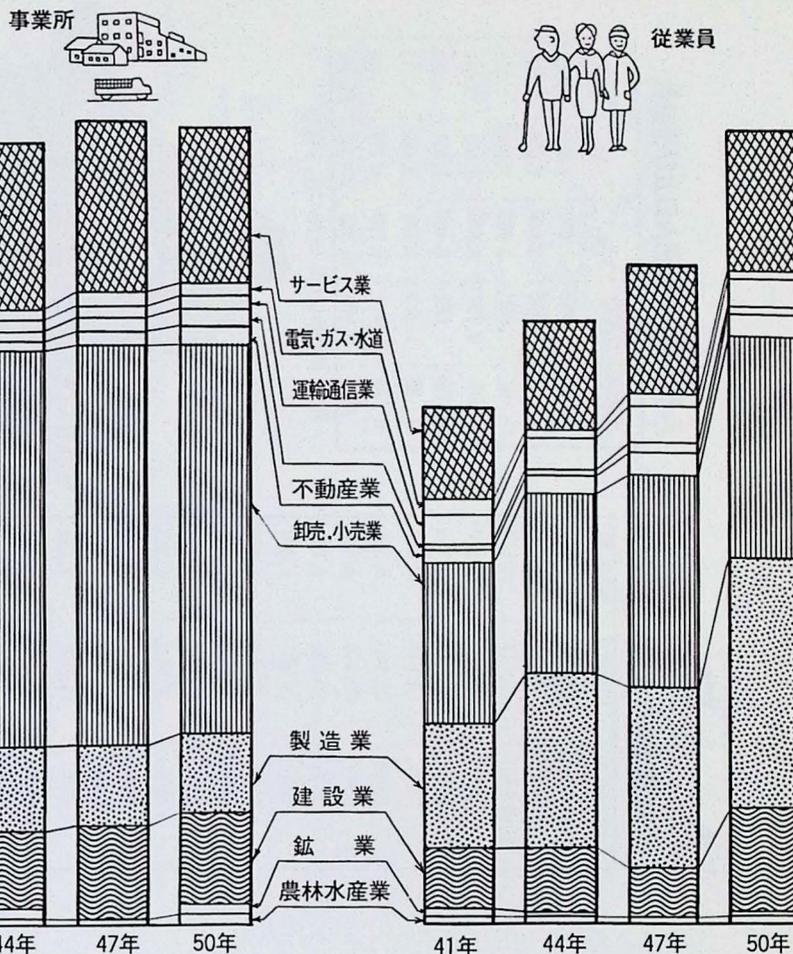
「昭和50年事業所統計調査」による八日市の産業構成をみると、八日市市の事業所総数は1,959で47年調査時に比べ、伸びはみられずやや減少している。

○産業分類からみると、卸売・小売業及びサービス業が減比となっている。しかしながら金融保険業及び不動産が時代を反映して伸びを示している。

○従業員でみると、総従業員数14,444人で47年調査時に比べ、2,558人(21.5%)の増加である。

○業種別では、建設業・製造業が著しく伸びを示し、不動産業・運輸通信業も増加傾向をみせている。

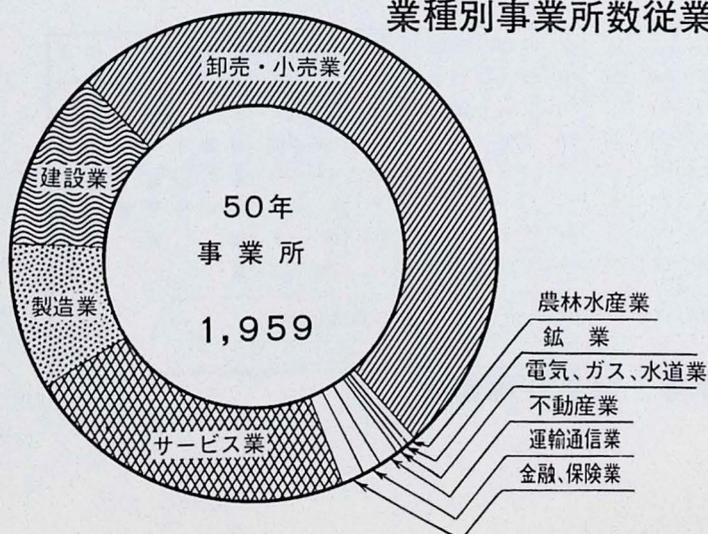
○全体として、総事業所数の減少は、商業部門の不振によるものと、又、従業員数の伸びは、大中企業の進出によるものとみられる。



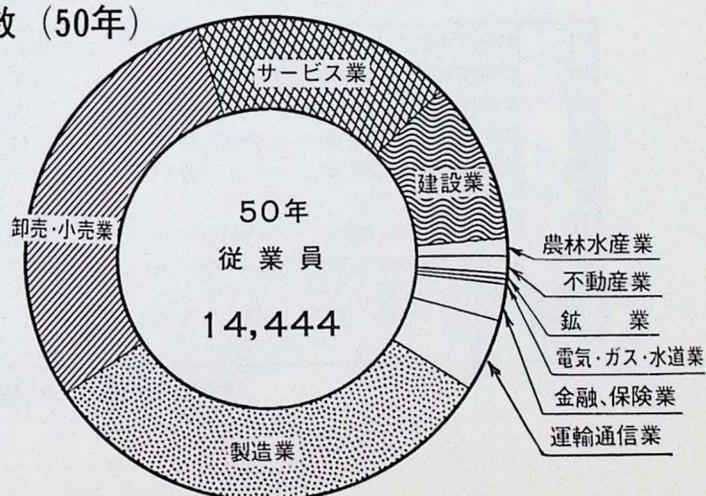
業種別事業所数従業員数(50年)

業種別	事業所							従業員						
	41年	44年	47年A	50年B	50年構成比	B/A	41年	44年	47年C	50年D	50年構成比	D/C	1事業所当り従業員数	
総数	1,751	1,925	1,966	1,959	100%	99.6%	9,460	10,979	11,886	14,444	100%	121.5%	7人	
農林水産業	2	3	4	3	0.2	75.0	48	95	84	95	0.7	113.1	3.2	
鉱業	4	3	0	2	0.1		35	48	0	14	0.1		2	
建設業	160	197	225	228	11.6	101.3	1,008	1,109	1,074	1,756	12.2	163.5	8	
製造業	168	192	192	194	9.9	101.0	2,248	3,154	3,297	4,492	31.1	140.5	2.3	
卸売・小売業	938	1,003	1,007	997	50.9	99.0	3,127	3,464	4,036	4,314	29.9	106.9	4	
金融・保険業	28	23	28	31	1.6	110.7	330	280	349	373	2.6	106.9	1.2	
不動産業	6	15	32	38	1.9	118.9	30	30	89	116	0.8	130.3	3	
運輸通信業	31	37	28	30	1.5	107.1	694	645	579	728	5.0	125.7	2.4	
電気・ガス・水道業	5	9	5	1	0.1	20.0	238	139	131	15	0.1	11.5	1.5	
サービス業	409	443	443	435	22.2	98.2	1,702	2,015	2,247	2,541	17.5	113.1	6	

業種別事業所構成



業種別従業員構成

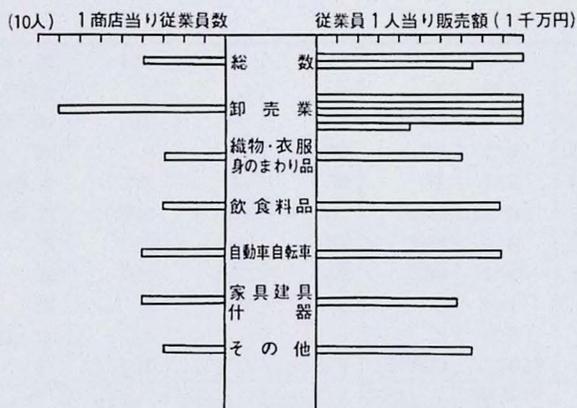


業種別商店数・従業員数・年間販売額

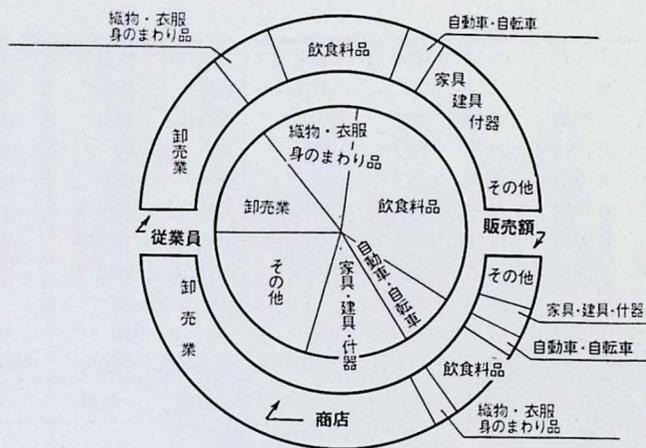
(単位 万円)

項目	商店					従業員数					1商店当り従業員数	販売額					従業員1人あたりの販売額			
	45年A	47年B	49年C	構成比	B/A	C/A	45年D	47年E	49年F	構成比		E/D	F/D	45年G	47年H	49年I		構成比	H/G	I/G
総数	757	762	724	100.0	100.7	95.6	2,809	3,089	2,960	100.0	110.0	105.4	4	1,496,184	3,181,079	5,149,513	100.0	212.6	344.2	1,740
卸売業	96	97	103	14.2	101.0	107.3	730	756	774	26.1	103.6	106.0	8	748,339	1,889,942	3,451,203	67.1	252.6	461.2	4,459
各種商品小売業	—	2	×	—	—	—	—	208	×	×	—	×	×	—	209,315	×	×	—	×	×
織物・衣服・身のまわり品小売業	102	106	93	12.8	103.9	91.2	345	356	312	10.5	103.2	90.4	3	135,080	185,598	216,575	4.2	137.4	160.3	694
飲食料品小売業	260	254	233	32.2	97.7	89.6	646	609	745	25.2	94.3	115.3	3	207,009	214,420	625,643	12.7	103.6	315.3	876
自動車・自転車小売業	56	56	50	6.9	100.0	89.3	165	213	199	6.7	129.1	120.6	4	41,709	161,146	174,036	3.4	386.4	417.3	875
家具・建具・什器小売業	95	93	92	12.7	97.9	96.8	413	386	400	13.5	93.5	96.9	4	126,481	182,844	265,944	5.2	144.6	210.3	665
その他の小売業	148	154	153	21.1	104.1	103.4	510	561	530	17.9	110.0	103.9	3	237,566	337,814	389,112	7.6	142.2	163.8	734

比較表



商業の構成



製造業の事業所数・従業員数・製造品出荷額

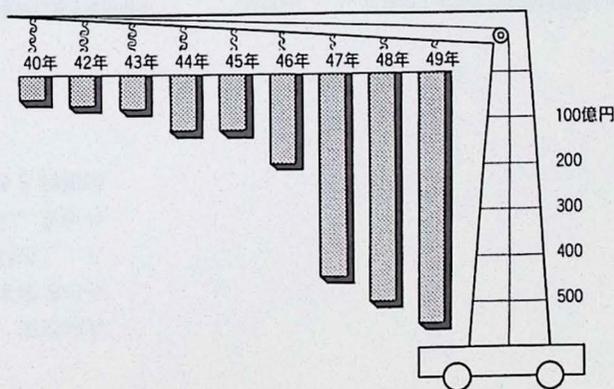
(金額百万円)

業種別	事業所数						従業員数						製造品出荷額							
	45年	46年	47年	48年	49年	昭和49年構成比	45年	46年	47年	48年	49年	昭和49年構成比	1事業所当り従業員数	45年	46年	47年	48年	49年	昭和49年構成比	1従業員当り出荷額
総数	173	169	196	199	186	100%	3,103	3,474	4,358	4,846	4,622	100%	25人	11,486	19,330	35,606	48,313	56,555	100%	12,236千円
食料品製造業	41	37	39	42	39	21.0	221	201	209	255	230	5.0	6	1,230	1,192	1,194	1,500	1,535	2.7	6,674
繊維工業	25	25	25	28	27	14.5	525	459	399	466	436	9.4	16	1,373	925	1,055	1,503	1,619	2.9	3,713
衣服・身のまわり品製造業	15	15	21	18	17	9.1	324	293	357	290	279	6.0	16	484	287	475	566	639	1.1	2,291
木材・木製品製造業	22	21	22	22	19	10.2	90	89	178	319	254	5.5	13	376	384	430	1,141	1,295	2.3	5,098
家具・装飾品製造業	13	15	18	15	16	8.6	43	71	78	559	77	1.7	5	67	111	138	145	192	0.3	2,489
パルプ・紙・紙加工品製造業	4	5	6	9	7	3.8	183	205	285	211	221	4.8	32	832	965	1,204	1,340	1,946	3.4	8,807
出版・印刷・同関連産業	9	9	8	9	10	5.4	62	61	167	306	315	6.8	32	131	161	1,026	1,769	4,547	8.0	14,436
窯業・土石製品製造業	4	3	5	4	5	2.7	831	75	167	159	207	4.5	41	2,666	497	2,534	700	1,426	2.5	6,891
金属製品製造業	7	7	9	9	7	3.8	209	217	263	270	276	6.0	39	2,095	2,516	2,988	4,261	5,409	9.6	19,599
機械製造業	4	4	8	7	9	4.8	164	151	176	164	173	3.7	19	547	573	699	815	1,199	2.1	6,930
電気機械器具製造業	7	8	9	9	8	4.3	322	1,355	1,681	1,934	1,768	38.3	221	1,200	10,159	20,882	29,398	30,081	53.2	17,014
その他の製造業	22	20	26	27	22	11.8	129	296	380	445	387	8.4	18	485	1,559	2,928	5,175	6,665	11.9	17,223

製造業の年次別動向

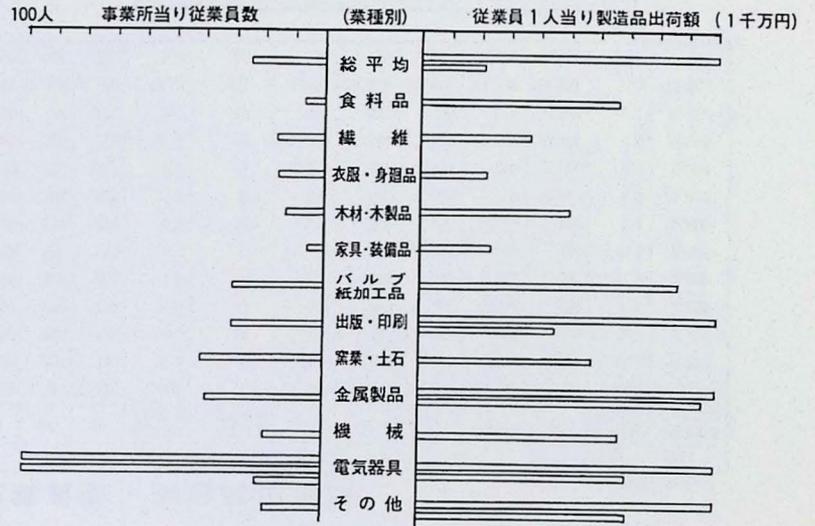
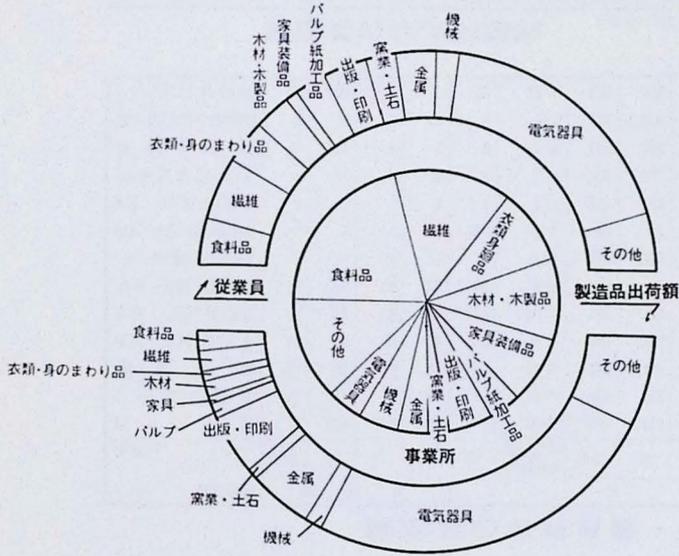
(金額 百万円)

年別	事業所数	指数(%)	従業員数	指数(%)	製造品出荷額	指数(%)
40年	177	100.0	2,171	100.0	3,642	100%
41年	184	104.0	2,382	109.7	—	—
42年	178	100.6	2,486	114.5	5,899	162.0
43年	172	97.2	2,400	110.5	6,715	184.4
44年	172	97.2	3,113	143.4	10,715	294.2
45年	173	97.7	3,103	142.9	11,486	315.4
46年	169	95.5	3,474	160.0	19,330	530.8
47年	196	110.7	4,358	200.7	35,606	977.6
48年	199	112.4	4,846	223.2	48,313	1326.6
49年	186	105.1	4,622	212.9	56,555	1552.9



# 製造業

八日市市は、京阪神・中京・北陸の3大経済圏の中間点に位置し、湖東地方の交易や農業の中心地として発展してきました。昔から特色ある地場産業の少ない八日市に企業進出の決定的な要素となったのは名神高速道路が開通し、八日市にインターチェンジが設置されたこととあります。昭和38年以来、京阪神中京から20社近くの企業が進出しました。この間の工業出荷額をみると昭和49年には、昭和40年の約15倍強にも増加しました。



49. 10. 1  
県統計推計

## ※商圏人口推計基準

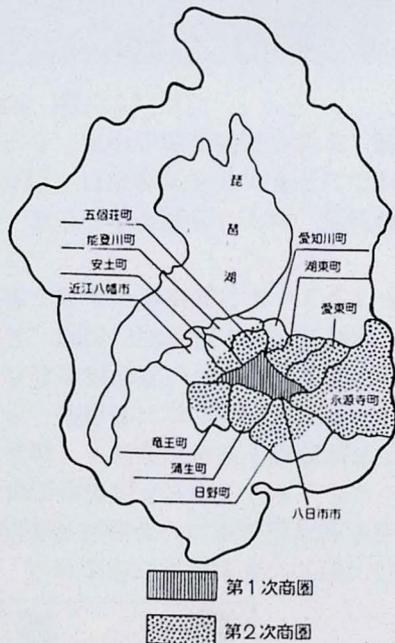
	購買率	商圏人口(居住人口比)
第1次商圏	50%以上	70~100%
第2次	16~40%	40~70%
第3次	5~15%	10~40%
その他	1~4%	5~10%

(購買率は小売商業適正化調査より算定)

## 商圏の設定(人口) (八日市市)

人口 市町	繊維・衣服・身のまわり品			食料品			自動車・自転車			家具・建具・什器			その他			(計)		平均商圏人口						
	購 買 率	商圏人口		購 買 率	商圏人口		購 買 率	商圏人口		購 買 率	商圏人口		購 買 率	商圏人口		商圏延人口	下限	上限	下限	上限				
		%	人数		%	人数		%	人数		%	人数		%	人数									
34,021 八日市市	81.3	70~100	27,659	34,021	88.4	70~100	30,075	34,021	88.1	70~100	29,973	34,021	88.7	70~100	30,177	34,021	86.9	70~100	29,564	34,021	29,490	34,021		
48,355 近江八幡市	6.8	10~40	4,836	19,342	7.3	10~40	4,836	19,342	5.1	10~40	4,836	19,342	6.2	10~40	4,836	19,342	6.6	10~40	4,836	19,342	4,836	19,342		
8,329 安土町	16.0	40~70	3,332	5,830	7.5	10~40	833	3,332	6.5	10~40	833	3,332	16.9	40~70	3,332	5,830	14.1	10~40	1,173	3,332	1,901	4,332		
8,807 蒲生町	67.0	70~100	6,165	8,807	16.9	40~70	3,523	6,165	13.9	10~40	881	3,523	49.5	70~100	6,165	8,807	52.0	70~100	6,165	8,807	4,580	7,222		
20,763 日野町	22.7	40~70	8,305	14,534	10.4	10~40	2,159	8,305	16.7	40~70	8,305	14,534	22.4	40~70	8,305	14,534	16.2	40~70	8,305	14,534	7,076	13,288		
9,200 竜王町	9.9	10~40	920	3,680	5.0	10~40	920	3,680	1.0	5~10	400	920	10.5	10~40	966	3,680	18.3	40~70	3,680	6,440	1,389	3,680		
6,937 永源寺町	56.3	70~100	4,856	6,937	38.3	40~70	2,775	4,856	35.8	40~70	2,775	4,856	46.1	70~100	4,856	6,937	58.9	70~100	4,856	6,937	4,024	6,106		
8,763 五箇荘町	51.5	70~100	6,134	8,763	31.9	40~70	3,505	6,134	22.6	40~70	3,505	6,134	43.8	40~70	3,838	6,134	41.3	40~70	3,619	6,134	4,120	6,660		
16,247 能登川町	4.3	5~10	812	1,625	2.4	5~10	812	1,625	?	5~10	812	1,625	3.7	5~10	812	1,625	3.0	5~10	812	1,625	812	1,625		
5,659 愛東町	69.0	70~100	3,961	5,659	34.1	40~70	2,264	3,961	34.1	40~70	2,264	3,961	60.8	70~100	3,961	5,659	76.5	70~100	3,961	5,659	3,282	4,980		
9,767 湖東町	55.8	70~100	6,837	9,767	30.6	40~70	3,907	6,837	38.3	40~70	3,907	6,837	56.8	70~100	6,837	9,767	63.2	70~100	6,837	9,767	5,665	8,595		
8,927 愛知川町	17.0	40~70	3,571	6,249	5.9	10~40	893	3,571	4.1	5~10	446	893	10.5	10~40	937	3,571	12.1	10~40	1,080	3,571	1,385	3,571		
7,978 秦荘町	21.3	40~70	3,191	5,585	?	40~70	3,191	5,585	?	40~70	3,191	5,585	24.6	40~70	3,191	5,585	21.3	40~70	3,191	5,585	3,191	5,585		
7,161 豊郷町	3.6	5~10	358	716	2.0	5~10	358	716	?	5~10	358	716	1.6	5~10	358	716	2.7	5~10	358	716	358	716		
8,910 甲良町	2.6	5~10	446	891	1.6	5~10	446	891	?	5~10	446	891	2.3	5~10	446	891	2.6	5~10	446	891	446	891		
25,559 水口町	0.3				0.2					0.2			1.8	5~10	1,278	2,556	2.2	5~10	1,278	2,556	511	1,022		
(計)			81,383	132,406			60,497	109,021			62,992	107,170			80,295	129,655			80,161	129,917	365,328	666,540	73,066	121,633

S 50年8月八日市市広域商業診断報告書による。



# 交通

八日市市の交通体系は北部には国道8号線、東海道新幹線並びに東海道本線が走り、南部には名神高速道路八日市インターチェンジが開設され、京都・大阪名古屋が1時間程度の距離に短縮された。赤松林につつまれたこのインターチェンジは八日市市の新しい玄関口となりつつあるとともに又、国道307号線が域内を縦断しており、市内を走る数本の地方道によってそれぞれに接続している。

主力交通機関としては、近江鉄道本線と、近江八幡八日市線があり、さらにこれを補完するかたちで、市中心部を起点として、路線バスが放射線状に通じている。

## 交通体系図



### 1) 八日市市内駅別乗降人員数

年	八日市		長谷野		新八日市		太郎坊		市 辺		平 田		全 線	
	乗客	指数	乗客	指数	乗客	指数	乗客	指数	乗客	指数	乗客	指数	乗客	指数
44年	2,893,562	100%	153,041	100%	199,423	100%	198,860	100%	502,425	100%	542,774	100%	4,490,085	100%
45年	2,810,263	97.1	162,211	105.9	188,648	94.5	180,398	90.7	478,603	95.2	523,890	96.5	4,344,013	96.7
46年	2,880,853	99.5	174,502	114.0	166,421	83.4	169,185	85.0	500,063	99.5	540,740	99.6	4,431,764	98.7
47年	3,031,538	104.7	176,874	115.5	165,236	82.8	150,373	75.6	488,573	97.2	203,828	37.5	4,216,422	93.9
48年	2,881,892	99.5	199,760	130.5	181,774	91.1	142,364	71.5	522,707	104.0	520,771	95.9	4,449,268	99.0

(八日市市統計要覧)

### 2) 路線別バス乗客数

項	路線	政所線	大萩線	市原線	御園線	湖東線	市内桜川線	神崎線	角能線	安土線	草津線	京都線	全 線	
45年1月~9日		271,477		201,545	399,216	95,738		317,504			944,628		2,230,108	100%
46年	〃	239,926		185,031	408,814	86,470		318,072			944,838		2,183,151	97.8
47年	〃	189,102		206,209	470,691	75,403		304,002			875,555		2,120,962	95.1
48年	〃	68,528	12,798	184,744	500,965	45,297	11,179	496,846	272,605	3,932	363,641	143,887	2,104,422	94.3
49年	〃	63,916	11,630	181,225	508,239	41,705	5,596	592,996	245,918	2,950	235,772	104,582	1,994,529	89.4

(八日市市統計要覧)

### 3) 車種別自動車台数

年度	車種	乗 用 車	軽自動車 (含小型二輪)	原付二輪車	計	対 45 年 比	
						台 数	比 率
45年		(台) 2,508	(台) 2,887	(台) 3,626	9,021	-	-
47年		4,081	3,140	3,488	10,709	+ 1,688	+ 118.7
49年		4,565	3,052	3,483	11,081	+ 2,060	+ 122.8

(滋賀県陸運事務所)

### 4) 名神高速八日市インターチェンジ出入台数

年度	項目	入		出	
		八日市-他のI.C	他のI.C-八日市	八日市-他のI.C	他のI.C-八日市
45年		386,029		397,580	
46年		562,989		580,095	
47年		622,439		614,997	
48年		796,337		773,448	

# 観光

## 伝承された“動”

### 大凧の飛揚

今から200年以上も昔のこと、徳川時代の中頃、男子出産を祝って5月の節句に鯉のぼりと同じようにあげられたのが八日市の大凧である。その頃の凧は現在市販されているようなヤッコ凧や、武者凧のようにせいぜい半紙2枚から5、6枚ぐらいのものであったが、近江人気質の負けん気と技術の進歩とによってだんだん大きくなってきた。

昭和28年3月、大凧飛揚を復活し、その技術保存を計るとともに観光協会の一事業として製作し、4月3日沖野が原で飛揚した。さらにこの大凧は規模の大きさ、技術の精巧さでは全国にもその比を見ないものとして昭和33年11月7日滋賀県無形文化財民俗資料に指定された。



大きさ 縦12.7m、横10.9m

### 江州音頭と盆おどり

八日市市は古く聖徳太子によって、市場町として開かれて以来湖東地方の商業文化の中心地として発展し、豊かな民俗文化を育んできた。江州音頭も幾多の伝承されてきた民芸のなかの一つである。

江戸時代末期、八日市市場に出入りした芸人桜川雛山はこの市場において歌祭文を教えひろめたが、この教えを受けた板前稼業西澤寅吉こと桜川大龍は真鍮鍍物細工家の奥村久左エ門こと真鍮家好文と協力して盆踊りに合う音曲を大成、広く全国に江州音頭としてなじまれるまでに発展してきたのである。

昭和44年7月「江州音頭発祥の地」に顕彰記念碑が建立、江州音頭保存会が結成され、昭和45年から行われている聖徳まつりの中で、江州音頭の市民総おどりが人気の中心で、近郷近在よりの見物客も多く、この八日市が生んだ江州音頭の保存と振興に努めている。



聖徳まつり総おどり風景

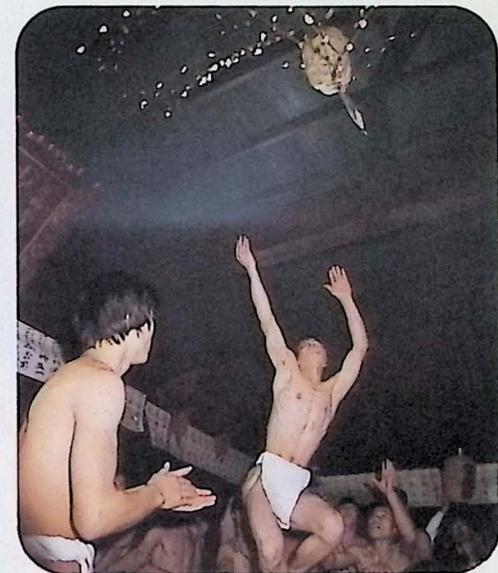
## 天下の奇祭

### はだかまつり

近江鉄道市辺駅を下車して南へ15分、西市辺町に鎌倉時代より伝わる奇祭。

未婚の長男が1月8日の夜素裸で、五穀豊穡と無病息災を祈願して朝まで踊る。

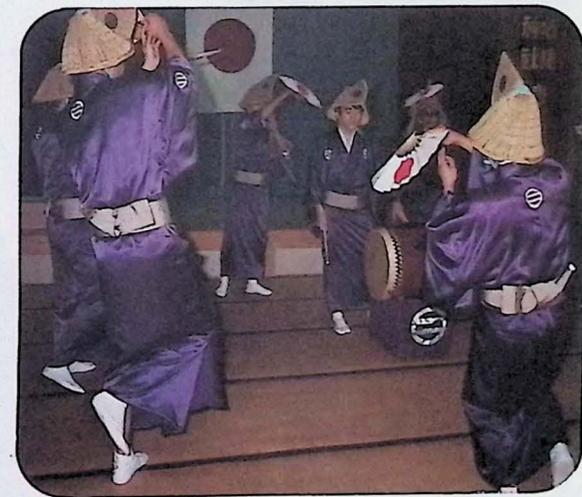
薬師堂の梁に供えたマユ玉を、チョーチャイチョーチャイの掛声と共に踊り廻るうちに奪い取るのであるが、若者たちは正月2日から謡曲や酒式の稽古に入り、精進潔斎する。



### 最上おどり

最上義智公が元禄8年近江国大森に移封されていらい、360年も伝承している。

この踊りの由来については先祖に当る源頼光公が勅命を受け、大江山の酒吞童子を退治される際、酒を飲まして酔わす為の余興として踊られたという説と、十禪寺宮祭礼を祭わす為踊り初めたという説がある。後者によれば最上家領内の青年が最上家の繁栄、主君に対する尊敬心、豊作の祈願、領民の娯楽等を兼ねて、主君初め家臣一同臨席のもとに踊ったもので、今日大森、尻無両町にそのままの踊りが伝えられている。



# 観光

八日市…その秘められた歴史



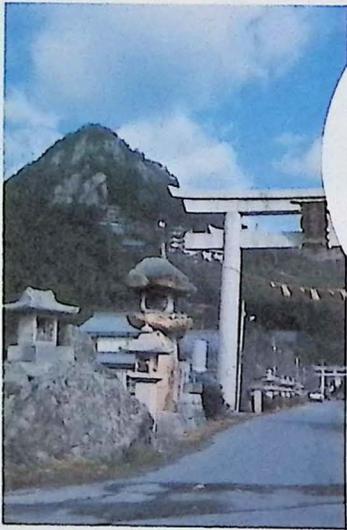
布施の溜池



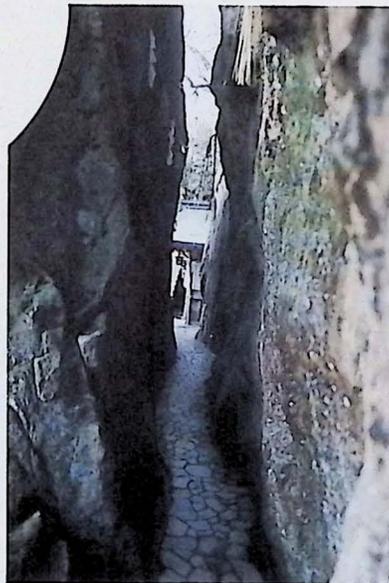
「茜さす紫野ゆき標野ゆき、蒲生野  
野守は見ずや君が袖ふる」

現代に生つ

“静”



太郎坊

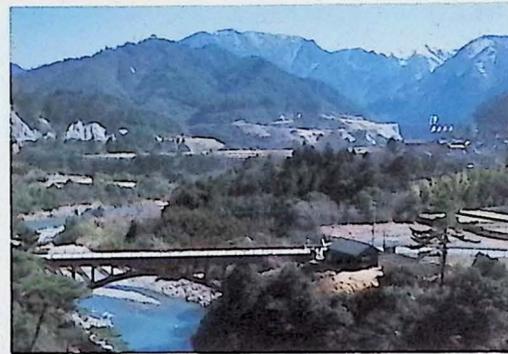


太郎坊



瓦屋寺

# 湖東の古刹と史跡



永源寺



石塔寺



永源寺



百濟寺



西明寺



金剛輪寺

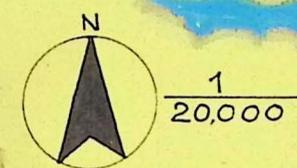
# 八日市の観光かいせつ

- 蒲生野—— 万葉集にひときわ光芒を放つ額田王と大海人皇子の相聞歌は、蒲生町を舞台によまれた。八日市は、この蒲生野に古く推古朝のころから拓かれ、いらい市場町として栄え、いま湖東地方の中核都市として発展をつづけている。
- 布施の溜池—— 朝夕その池の美しさが千変万化する。この溜は「梁塵秘抄」にもうたわれた歴史の故をもち、水生植物、食虫植物の宝庫でもある。
- 太郎坊宮—— 千日祭、お火焚まつりで、勝運授福の神として、広く信仰され、奇岩そそり立つ、その奥に本殿をのぞむ太郎坊宮。千鳥破風の参集殿は、修験場開祖の「役の行者」の神像をまつり行場が設けてある。
- 瓦屋寺—— 聖徳太子の建立と伝えられ、本尊は観世音として有名である。桜や紅葉に包まれる境内からの眺望もすばらしい。
- 松尾神社—— 蓬萊石組を中心にした、安土桃山時代の力強い造園技術をしのばせる名園がある。
- 延命公園—— 八日市の西南延命寺山の麓は延命公園とも呼ばれ、市街地に面した3.2ヘクタールの区域に、日本庭園や桜の谷、ツツジ、サツキの丘などを始め、上水道配水池の水を利用した滝や池があり、市民の憩いの場として広く利用されている。
- 石塔寺(蒲生町)—— 飛鳥時代の作と推定される阿育王塔を中心に、8万4千の石仏石塔が整然とならぶさまは壮観。
- 永源寺(永源寺町)—— 臨徳宗永源寺派大本山。音無川の清流にのぞんだ紅葉の名所として名高い。
- 西明寺(甲良町)—— 天台宗湖東三山の一、平安時代の開基。国宝・名園・不断桜・紅葉の名所。
- 金剛輪寺(秦荘町)—— 天台宗湖東三山の一、天平時代の開基。近江西国第15番札所、本尊生身の聖観世音菩薩、名園、血染の嵐。
- 百済寺(愛東町)—— 天台宗湖東三山の一、飛鳥時代の開基。近江西国第16番札所、弥勒菩薩半跏思惟像、名園。
- 安土城址(安土町)—— 天正4年に築城され、七重の天守閣から信長が天下に号令した往時を、そのみごとな礎石にしのぶことができる。

## 観光年中行事

- 1月 太郎坊初詣、市神社十日戒、市辺裸まつり
- 2月 太郎坊節分祭
- 3月 市神社開市祭、御河辺神社裸まつり
- 4月 延命公園、瓦屋寺の桜、八日市まつり、大凧あげ、最上おどり
- 5月 太郎坊御田植祭、布引イチゴ狩り
- 6月 愛知川の鮎釣り
- 7月 太郎坊千日祭、花火大会、愛知川鮎釣り、聖徳まつり
- 8月 江州音頭盆おどり、琵琶湖まつり
- 9月 布引くり狩り
- 10月 延命ハイキング、松茸狩り
- 11月 瓦屋寺、永源寺、湖東三山の紅葉狩り、えびす講、キジ獵解禁
- 12月 太郎坊お火焚祭

# 八日市文化財マップ

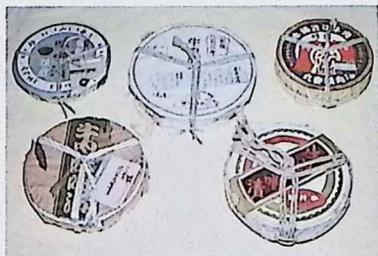


# 物産

世に古く近江商人といわれるのは、当市周辺の湖東地方出身の商人を指したもので、その足跡は日本全国に及んでいます。したがって、商業活動はすこぶる盛んです。

近江肉牛、近江米、銘酒、葉たばこは立地条件を生かした特産であり、手工芸品、高級織物は有名です。

又、地場産業と共に内陸工業も進展しつつあります。



近江肉牛の味噌漬け



銘酒、近江米、葉たばこ



銘 茶



トランプ



高級織物



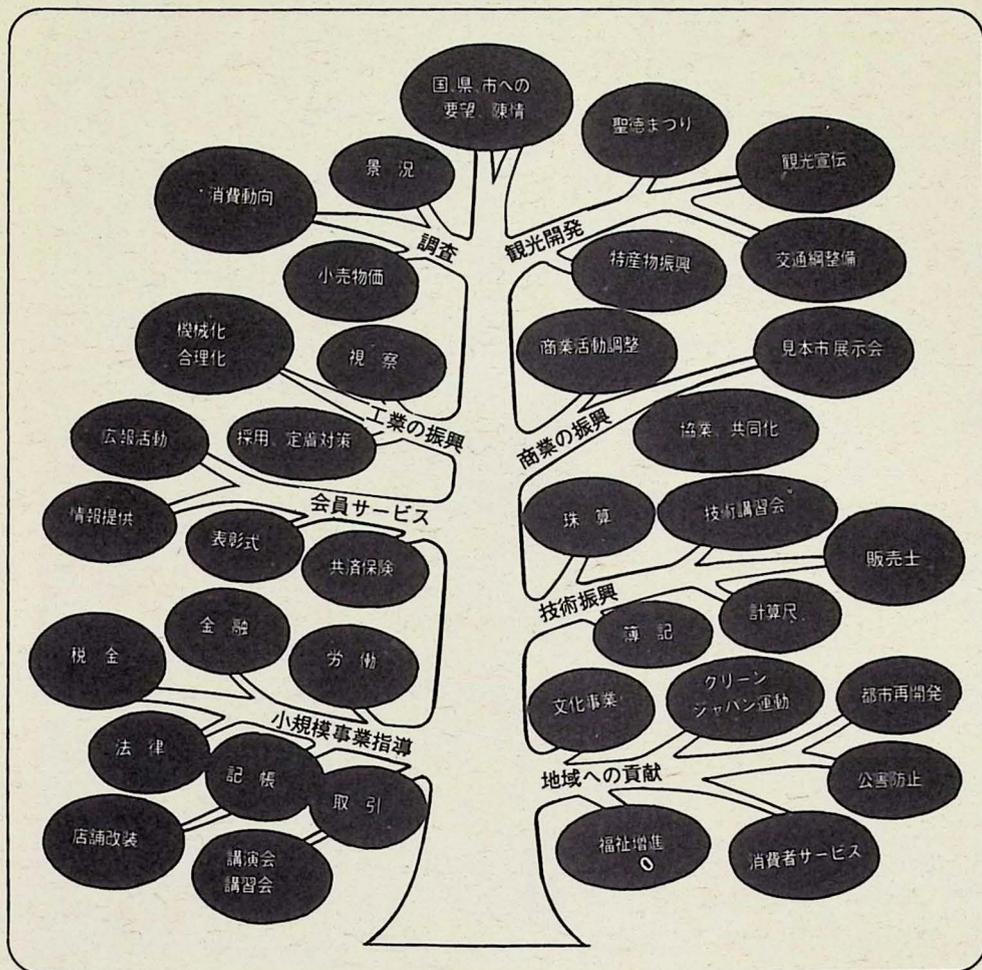
電機部品



繊維製品

# 商工会議所の概要

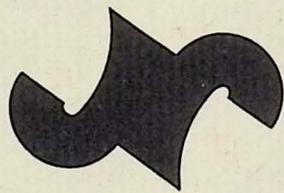
## 企業を育て地域を伸ばす商工会議所



業界の総意を結集する  
 唯一の機関、商工会議所を  
 みんなの力で育てよう。

会議所会員になることにより信用は倍加します。  
 みんなで手をつなぎ、誘い合わせて会員増加をはかりましょう。

八日市商工会議所



## 商工会議所

日本商工会議所は数ある経済団体のなかで最も歴史が古く、しかも経済界の本流を歩んできた。明治11年につくられた東京商工会議所がはじまりで、初めから1地域1会議所制がとられ商業会議所、商工会議所、戦時中の商工経済会など名称も変わってきている。現在それぞれの地名を冠した商工会議所は466あり、その連合体が日本商工会議所である。

商工業振興取り引きの紹介、あっせん、講習会、見本市などの開催、証明、鑑定、検定、海外との連絡、あっせんなどをおもに行なう。

商工会議所法によって国から公認されているが、それだけに制約もある。商工会議所はソ連、東欧諸国も含め万国共通の経済団体なので、国際交流の民間の窓口となる機会が多い。経済団体連合会（経団連）と並ぶ経済界を代表する総合経済団体である。



八日市商工会議所

## 八日市商工会議所歴代会頭



初代会頭

函司松兵衛

(昭和31年2月8日  
～昭和35年9月30日)



二代目会頭

今宿泰蔵

(昭和35年10月1日  
～昭和41年9月30日)



三代目会頭

岡崎耕平

(昭和41年10月1日  
～昭和47年9月30日)



四代目会頭

二橋貞治郎

(昭和47年10月1日  
～昭和50年9月30日)

## 八日市商工会議所役員

会頭



福原憲治

合資会社 神崎倉庫  
代表社員

副会頭



渡辺福之助

八日市小型運送有限会社  
代表取締役

副会頭



重田宗平

丸八八日市魚市場株式会社  
代表取締役

専務理事



阿部秀二

八日市商工会議所  
専務理事

# 繁栄の進路をひらく商工会議所

## 1. 設立とその経緯

昭和29年、八日市町と中野村が合併、引続き、翌30年近接5村(平田、市辺、玉緒、御園、建部)の合併に依り、八日市市が誕生した。

八日市市の誕生に依り、今までの商工会を商工会議所法による法人に改組する機運が起った。

設立発起人51名、その代表者を岡司松兵衛氏とし、昭和31年1月18日設立趣意書を作成。同意を求めた処802名の同意があったので、昭和31年2月8日午後1時より八日市公民館大広間に於て648名の出席のもとに盛大に創立総会が開催された。

引続き、通産大臣宛設立認可申請書を提出し、昭和31年3月15日付を以て認可となり、同月30日付設立登記完了。同月31日付滋賀県知事宛登記完了届を提出。昭和31年4月2日成立式を挙行、ここに八日市商工会議所の設立を見るに至った。

## 2. 20年の歩み(主要事業及び行事年表)

昭和31年度 ●商工会議所の基礎確立と会議所事業の普及

●“八日市の観光と産業”パンフレット刊行

昭和32年度 ●役員議員の改選

●八日市観光協会の設立  
●大阪チエンストアへの進出防止  
●延命山ドライブウェイ設定

昭和33年度 ●八日市卸売市場の設立  
●従業員退職金制度の創設  
●失業保険事務組合の創設  
●名物大風7間×7.5間製作と飛揚

昭和34年度 ●納税協会支部の設立  
●新江州音頭普及宣伝  
●菊花大会と品評会開催

昭和35年度 ●役員議員の改選  
●小規模事業経営改善普及事業の指導強化のため経営改善普及員の設置  
●第10回えびす祭共催

昭和36年度 ●八日市織物工業⑩設立  
●八日市工業会結成  
●延命山植樹  
●阿賀神社千日煙火大会協賛

昭和37年度 ●商工婦人学級の開設  
●会員事業所の巡回簡易診断実施  
●延命山観光道路竣工式  
●太郎坊ドライブウェイ竣工式

昭和38年度 ●役員議員の改選  
●八日市遊園地の誘致  
●観光開発協議会  
●近鉄遊園地起工式

昭和39年度 ●労働福祉協議会の設立  
●八日市広域商業診断の実施  
●商工会館一部改造  
●八日市遊園地開園式

昭和40年度 ●中小企業労働改善集団の指定  
●観光地図作成配布  
●江州音頭普及指導

昭和41年度 ●役員議員の改選  
●八日市工業振興⑪設立  
●本町商店街振興組合設立

昭和42年度 ●八日市商工会館建設準備

●本町商店街アーケードの完成式  
●内外食品くらべ  
●盆おどり大会

昭和43年度 ●八日市商工会館起工式  
●びわこ祭盆おどり大会  
●千日花火大会

昭和44年度 ●役員議員の改選  
●八日市商工会館竣工式  
●誘致工場の竣工式  
●江州音頭発祥之地碑打合会

昭和45年度 ●八日市自動車⑫設立  
●議員研修会の実施  
●第一回聖徳まつり開催  
●量販店対策のための調査研究

昭和46年度 ●会議所創立15周年記念式典  
●不況対策企業診断実施  
●江勢道路早期完成促進陳情

昭和47年度 ●役員議員の改選  
●商工名鑑発刊記念式典  
●商店街再開発問題

昭和48年度 ●大型店移転問題について調査研究  
●中部地域商業振興構想策定  
●卸売市場問題について調査研究  
●八日市市中小企業振興資金の融資斡旋

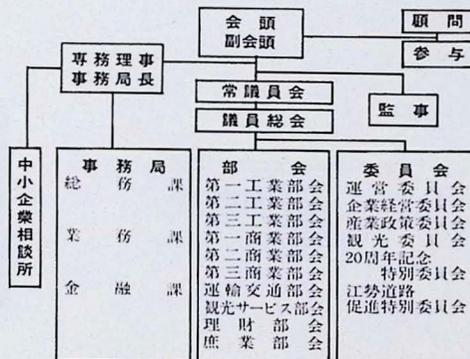
昭和49年度 ●朝市の実施  
●小企業経営改善資金の融資斡旋  
●中部地区卸売市場整備推進  
●八日市大通り商店街(振)設立

●八日市ショッピングセンター⑬設立  
●第一回開市記念祭の実施  
●商工会館エレベーターの建設

昭和50年度 ●役員議員の改選  
●大規模小売店舗に係る小売業の事業活動の調整  
●共同店舗建設に係る振興事業団診断実施

## 3. 現勢(組織)

現在、商工会議所の意見は多数の総意に基いて公正な意見を決定し、商工業の振興と市民社会全般の福祉のために貢献しています。それは、その不偏性、民主性、公益性が最も公正にして、有力な意見として、国家政策、地方行政の上に強く反映、実現しているからであります。



# 企業経営は登録から……

## \* 特定商工業者の制度 \*

### ☆ 特定商工業者とは

商工会議所は従来から会員による組織体であります。商工会議所法が改正されて以来、新たに特定商工業者の制度が設けられ、一定規模以上の商工業者は特定商工業者として会議所の運営に参加していただくことになっております。

### 1. 該当資格

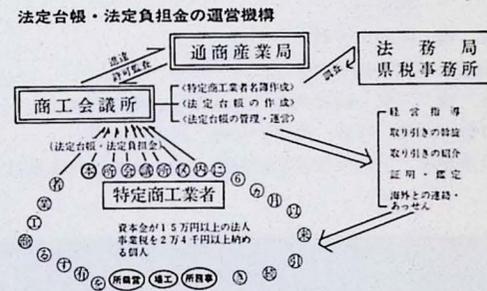
- イ. 15万円以上の資本金または払込済出資をもつ法人。
- ロ. 年間24,000円以上の事業税を納める法人または個人。

### 2. 法定負担金

法令により各特定商工業者は年額500円の負担金を納入しなければなりません。これは法定台帳の作成、管理、運用の経費に充当するもので、通産大臣の監督を受けています。

### ☆ 特定商工業者の義務と法定台帳

特定商工業者は負担金を納める義務があるとともに、会議所から法定台帳の作成または訂正に関して資料の提出を求められたときは、正当な理由のない限りこれを拒むことができません。また、商工会議所は法令によってこれを登録した商工業者法定台帳を管理し、事業の適正円滑な実施に資するよう義務を課せられており、この法定台帳によって地区内における商工業の現状を正確につかみ、商工業の総合的改善発達を図り、商取引の紹介斡旋などを行なって事業の発展に資しております。



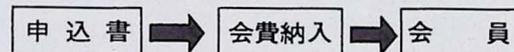
# すすんで活用みんなの会議所

## \* ご入会の手続き \*

今日の商工会議所法は戦前と異なり、民主的な商工会議所法(昭和28年法律第143号)により運営されておりますので、ご入会は手軽にできます。所定の申込書に必要事項を書き入れてお届ください。

### ★ 会員の資格

八日市商工会議所の地区内において引き続き6ヶ月以上営業しておられる商工業者は、法人、個人を問わずどなたでも加入できます。



### ★ 会費等級表

会員の会費等級は資本金額、払込済出資額または事業税などを勘案して話しあうえ決定します。

八日市商工会議所会費等級表

ランク	年額会費(月額)	ランク	年額会費(月額)
1級	300,000円(25,000円)	11級	24,000円(2,000円)
2	240,000(20,000)	12	18,000(1,500)
3	180,000(15,000)	13	12,000(1,000)
4	120,000(10,000)	14	10,800(900)
5	96,000(8,000)	15	9,600(800)
6	72,000(6,000)	16	8,400(700)
7	60,000(5,000)	17	7,200(600)
8	48,000(4,000)	18	6,000(500)
9	36,000(3,000)	19	4,800(400)
10	30,000(2,500)	20	3,600(300)

八日市商工会議所は商工会議所法にもとづき、商工業の振興を目的として設立された会員組織の地域総合経済団体で、会員の希望や、意見をもとに、商工業、特に中小企業の改善や地域の再開発に役立つ建議、要望を市・県・国に行ない、また各種の諮問にも答えて、社会福祉の増進と地域の繁栄に貢献しております。

# 伸びゆく企業は経営の合理化から

## ●経営改善への近道……中小企業相談所

中小企業相談所は経営改善のための無料相談機関です。

### 窓口・巡回相談

- 経営** 商店 仕入、販売、商品陳列、宣伝……  
工場 資材購入、販路開拓、生産性向上……
- 金融** 資金不足と金融対策、制度融資、国民金融公庫、信用保証協会等の利用方法……
- 労働** 賃金、雇用対策、組織と人間関係……
- 経理** 帳簿組織、記帳のしかた、決算手続、経営分析……
- 税務** 申告の手続き、節税……
- 商取引** 取引先信用調査、あっせん、照会……
- 技術** 工業、商業技術、店舗改造、電気照明……
- 特許・商標** 特許、商標の登録、工業所有権……
- 共済制度** 小規模事業共済制度、中小企業退職金制度等……

### 講習会・講演会

経済諸情勢の変動に対処するため、業界、学界の権威者を講師として迎え、好評を博しています……。

(例) 新入社員講習会、簿記講座、管理者のための講習会、これからの商店経営、女子職員のみだしなみ。

交通事故対策セミナー等。

### 経営指導員とは……

国が定めた資格をもっております。

実際に即し親切に、適確に、迅速に相談いたします。どうぞお気軽にご相談ください。④で外部にもれる心配がありません。

中小企業相談所には3人の経営指導員がおります。

# 会議所はあなたの企業の羅針盤

## 企業診断

経営分析によって企業の健全な実態を把握し、合理的な改善をはかるため。

## 税務記帳指導

税務記帳指導員を常置して小規模事業者のため、自主記帳の促進を主眼においた記帳により、決算、申告までの一貫した指導。

### ＝こんな悩みはありませんか？＝

- 売り上げの伸びはあるが儲けが少ない
- どうすれば従業員の働く意欲を高めることができるか
- 機械設備の増設更新をはかりたい
- 資金不足について金融の道が知りたい
- 自分に記帳能力をつけたい

—お気軽においで下さい。



### 専門指導員とは……

弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、技術士が、税法、税務、商法、店舗改装、特許、商標、意匠などについて専門的に無料でご相談に応じます。

### ★産業のインフォメーション

- ・珠算、和英文タイプ、計算尺、簿記、加算機、商業英語等の技能検定。
- ・視察会、講演会、講習会、見本市
- ・市場調査団の派遣
- ・工場用地のあっせん
- ・商店街振興の方途

### ★企業に役立つ情報・資料

- ・商工会議所事業の広報、賃金の実態、経済動向の調査、企業PRのあっせん、産業のPR対策。

# 活発な活動をめざして……

## ●部会

八日市商工会議所は、業界の健全なる発展を図るため会員が営んでいる業種ごとに部会をもうけてご加入を頂いており、部会員は部会に所属して意見を述べ、表決に加わることができます。また部会において2号議員を選任することができます。

### 正副部会長

#### 第一工業部会

(部会長) 今宿多三郎 宿太醤油醸造場  
(副部会長) 谷利三郎 谷利食品

#### 第二工業部会

(部会長) 紅谷藤一郎 滋賀小松㈱取締役副社長  
(副部会長) 谷口博 東洋ラジエター㈱ 八日市製作所

#### 第三工業部会

(部会長) 前川 恕 前川木材㈱代表取締役  
(副部会長) 村防 龍雄 村防工業㈱代表取締役

#### 第一商業部会

(部会長) 北岸幸太郎 ㈱丸幸自転車商会取締役  
(副部会長) 山田晴一郎 ④かじ藤商店代表社員

#### 第二商業部会

(部会長) 古川 晴一 古川呉服店  
(副部会長) 長野 重衛 滋賀産業㈱代表取締役

#### 第三商業部会

(部会長) 今宿 三郎 そとや  
(副部会長) 野田 貞夫 一二三堂

#### 運輸交通部

(部会長) 広瀬 喜文 近江バス㈱八日市営業所所長  
(副部会長) 石戸 光彦 滋賀交通㈱八日市営業所所長

#### 観光サービス部会

(部会長) 外村 伊八 喜楽亭  
(副部会長) 富田 芳雄 中日本観光㈱代表取締役

#### 理財部会

(部会長) 古沢 繁行 滋賀相互銀行八日市支店長  
(副部会長) 沢田 正造 滋賀銀行八日市支店長

#### 庶業部会

(部会長) 回瀧 治二 ㈱花治商店  
(副部会長) 平井永治郎 日産種苗㈱代表取締役

## ●委員会

当面する問題点を把握し、重要事項を調査研究して、その目的を達成するために議員総会の議決を得て、設けられているが、諸般の経済、社会の変遷によっておこる諸問題については同じく適宜特別委員会を設けてその処理にあたる。

### 正副委員長

#### 運営委員会

(委員長) 笹井 太一 近江印舗  
(副委員長) 長野 重衛 滋賀産業㈱代表取締役

#### 産業政策委員会

(委員長) 勝山 進一 関西電力㈱八日市営業所所長  
(副委員長) 村田 志郎 ㈱キクヤ薬局

#### 企業経営委員会

(委員長) 木村 豊一 ㈱木村鉄工所  
(副委員長) 喜多 俊介 大昭和紙工製造㈱八日市工場工場長

#### 観光委員会

(委員長) 北岸幸太郎 ㈱丸幸自転車商会取締役  
(副委員長) 深尾寅之助 深尾商店

#### 金融審査委員会

(委員長) 渡辺福之助 八日市小型運送㈱  
(副委員長) 村田 志郎 ㈱キクヤ薬局

#### 20周年記念特別委員会

(委員長) 前川 恕 前川木材㈱代表取締役  
(副委員長) 長野 重衛 滋賀産業㈱

#### 江勢道路促進特別委員会

(委員長) 堀井 寅蔵 協楽興業㈱  
(副委員長) 北岸幸太郎 ㈱丸幸自転車商会



解説

当市商業は歴史的に、湖東中部地域の中心的商業中心地として栄えてきたが最近はこの前提に安住が許されない環境の変化が著しく当市中部商業の停滞の声を聞かれるようである。この点に関して47年から49年の2年間におけるマクロ的にみた小売商業の中心性指針の検討でたしかに0.3%の低下があり、それだけ購買吸引性の衰退を立証するデータが一応みられた。しかし当市商業をめぐる環境立地の諸条件の動向からは、当市商業自体の衰退要因とみられる条件悪化を意味する変化は、特にとり上げていえるものは、ほとんど認められない。

例えば、人口世帯の動向をみても、最近5ヶ年中には、その両者とも13%余り増えている実情である。もちろん社会増によるところが大きいし、昼夜間人口比でも、中部地域各都市中唯一の昼間人口受入れ都市となっている。

また産業構造についても隣接競合都市である近江八幡市に比して僅かながら高い産業構造を示し、当市の工業年間出荷額および商業年間販売額においても、近江八幡市のそれを押えて中部地域内で、第1位に位置している。これは国道8号線とともに、名神八日市インターチェンジももつ広域流通拠点の有利性によるもので、工業その他の大企業所の進出が相次いでいるところによりもたらされているものと考えられる。近鉄乗降客も八日市駅で年間約300万人、他の中間五駅の分を加算して年間に、445万人が近江鉄道によって当市中心に流動している。インターチェンジでの自動車の出入台数をみても70万台にのぼっている。一方バスによる人口の流動も八日市を中心にして放射線状に五方面を接続し、活発な人口流動がみられるし、市内乗用車等自家用車の保有状況からその大量な利用が見込まれるという実情であり、総じて当市商業にとってマイナス要因となる事実は認められない。

むしろ内的要因としての行政ニュータウンの建設や駅前再開発、中野流通センター計画、これらと連動する域内道路網の計画など都市基盤の整備の具体化が進みつつあるなど当市商業近代化の必然性を促進する要因が累積的に始動していることに注目せねばならない。

八日市商業は現在このような内外の環境進展の中で地元商業革新の方向をどのように具体的に推進すべきかの輝かしいが、難しい課題に直面している段階にある。

共存への道  
商店街とスーパー

昨年6月2日。八日市市の行政ニュータウンの完成式直後のこと。地元の商店街連盟役員ら三十数人が土下座して、前市長で知事の武村さんを拝むように訴えていた。

この異様な光景に居あわせた市民は、びっくりしたものだ、土下座陳情——大手スーパー、西友ストアが同ニュータウンに進出するにあたってその規模を縮小させてほしいという”お願い、だった。それは、まさに大資本の零細な中小商業者の対決を浮彫りにした情景でもあった。

その後——西友ストア八日市店は12月23日に開店。オープンセールには、3万人ほどが押し寄せ”集客力の強さ、をまざまざと見せつけた。ところで、西友ストアの進出には、かなりの曲折があった。商店街連盟の拡大移転反対……。市長、会頭、商連会長三者の確約書、同意書の交換……。西友ストアの建物は延べ13,200平方メートル以内。売場面積も7920平方メートル以内というのが調印内容。だが、着工間近になって、経済情勢の変化などを理由に商店街連盟からクレーム。「規模を縮小しなければ商店街は衰亡の一途をたどるばかり」というのである。結局、西友側が売場面積を3分の1近く減らし、(4917平方メートル)閉店時間も午後6時半と妥協してスタートした。

一方、地元商店街は——。八日市ショッピングセンター協同組合(森稔理事長)を設立、西友とのドッキング形式で共存の道をさぐろうという。国の中小小売商業振興法の高度化資金を借入れ、総工業費約5億円で、鉄骨2階建て(3階屋上)売場面積2247平方メートルの専門店街をつくり、道路で西友と結び一体化をはかろうともくろむ。現在の加入者は20店舗。46年9月に、平和堂が駅前に進出して以来、5年目にして迎えた大型スーパーの攻勢に、地元商店街の精いっぱい”抵抗、といえなくもない。そして、この西友の進出は、一方の大手スーパー、平和堂にもクサビを打ち込んだ格好となった。“2つの核、店舗を中心に、商勢圏が2分されたのである。

八日市市商店街。本町、駅前、大通、中央、南町、栄町、仲之町、清水町と八商店街から成る。360店舗。平和堂に次ぐ西友の進出で、店舗の改装、駐車場の整

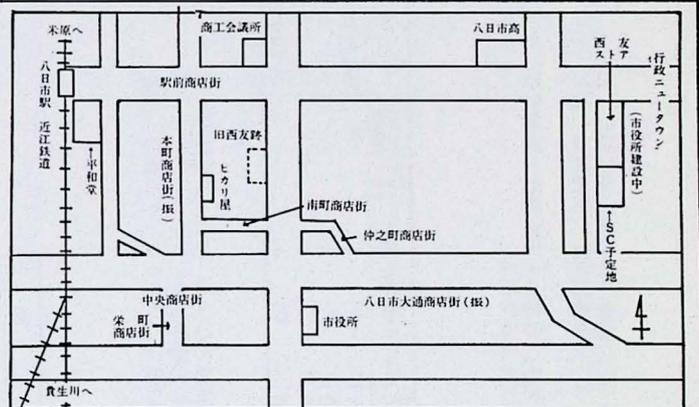
昭和51年2月24日毎日新聞より

備……と忙しい。42年に、いち早くアーケードを設けた本町商店街(松吉勝司会長、66店舗)は、道路のカラー舗装、アーケードの装飾の改善を計画、メイン商店街としてのイメージアップに余念がない。さらに中央、南町商店街との一体化、平和堂を核にして、駅前商店街と共に楽しい買物センターとしてのムードづくりを目指している。

本町商店街のフレッシュグループ、経営開発研究会の白井善勝会長(47)は「西友開店による打撃は当初、予想していたより少なかったが、半年、1年後にジワジワとこたえてくると思う」と楽観視をいましめる。ある果物店主も「価格競争では、大手スーパーにたち打ちできない。客の愛情を得られるようコツコツと努力するだけ」。つまり、サービスの徹底こそ商店街の生きる道だと”告白、する。

八日市大通商店街(笹井太一会長)。60店舗。ここも1昨年、振興組合を組織し、街頭放送設備をしたり、商店街会館をつくらせたり。会員相互の研修、親睦はむろん、休憩所、公衆便所の設置も計画するなど意欲的。笹井会長(69)はいう。「うちの商店街は卸、小売を兼ねている店が多いので、西友の進出で落ち込むより、むしろ売上げが伸びた。車の一方通行規制で、お客さんも安心して買物が出来ると喜ばれている。会員がお互いに危機意識を持って助け合いでやっていこうと思う」。

成行きが注目されている八日市ショッピングセンター。これについては、森稔理事長(52)が次のように言う。「車社会に対応するため、既存の商店街とは違ったショッピングセンターが必要だ。スーパーとドッキング方式でやっている先進地を見ても、却って協同組合の方が、個性があって業績は良いようだ。“八日市市場”の拡大のために、前向きに取り組むたい」。決意がなかなか固い。そのドッキング相手の西友の杉政征治店長は「ショッピングセンターと合同企画を盛り込み、2つの力で、お互いに補完しあって共存共栄をはかりたい」と期待を寄せる。とはいっても、西友側は、早くも売場面積360平方メートルの増床申請を商調協に持ち込む姿勢を見ている。



私の診断

八日市商工会議所、阿部秀二・専務理事 商店街は最も楽しくショッピングのできる街であり、それには計画的に統一された買物街でなければならない。ち密な計画に基づいて、特色のある型を打ち出すことが繁栄する商店街であろう。八日市市は大型店の進出で、その影響が次第に顕著になりつつあるが、各商店の歴史も異なり、経営者の性格もそれぞれ違うまた、売場面積も取扱商品も異なる。現実の問題として、幾多の規制があるにしても、商店街発展のために、一企業体として運営されるのと全く同じ機能を持つことが理想像である。

## 工業

### 概況

八日市市は、滋賀県の東南部愛知川、日野川の二大河川に囲まれた湖東平野の中心地に位し、古くよりこの地域の商工業の中心として発達してきた。適地は、市域の東部に位置し用地はほとんど平坦であり造成工事も容易である。

長谷野工場適地については、すでに造成を完了し分譲が可能である。適地からの交通は、名神八日市インター、国道307号線、主要地方道近江八幡貝弁線の利用により良好である。

### 1 適地の区域

適地名	適地番号	所在地	面積	未立地面積	推定価格 <sup>円/㎡</sup>	適地名	主要地目	都計用途	図面対象番号	名神八日市ICまでの距離	形状
沖野	022	沖野町沖野	183,900 <sup>㎡</sup>	172,957 <sup>㎡</sup>	13,000	沖野田	工業	1	1	1km	造成が必要
岡田	023	岡田町野上	208,000	208,000	8,000	岡田山林	工業	3	3	3	同上
林田	024	林田町	151,000	151,000	8,000	林田山林	工業	2	2	0.4	同上
長谷野	025	蛇清町長谷野	238,434	238,434	10,600	長谷野雑種	工業	4	4	5	先行造成団地

### 2 適地産業

当該地区は、愛知川左岸に発達した地帯で有力な地下水の供給源となっているため工業用水として取水可能であるが、排水専用水路がないため多量の排水の出る工場は立地できない。

適当な業種としては、縫製、一般機械、精密機械、輸送用機械の組立、プラスチックの成形、弱電気関係の業種が望ましい。

### 3 労働状況

通勤可能圏の地元雇用期待可能見込(昭和51年3月予定者)

労働力の内訳	男	女	計
(1) 新規学卒者(中卒)	40	80	120
(2) 同上(高卒)	400	500	900
(3) 専門学校等	100	100	200
(4) 中高年令者	80	100	180
(5) パートタイム		100	100
合計	620	880	1,500

### 4 地形・地質

愛知川、日野川に囲まれた湖東平野にあり西北部には琵琶湖がある。地質は秩父古生層、第三紀層に属する推積岩、花崗岩、輝緑岩、斑石の火成岩類と変成岩よりなる。地耐力は、おおむね70%程度とみられている。

### 5 工業用水

#### ① 地下水

八日市市は、愛知川左岸に発達した地帯で鈴鹿山系の西側斜面を流域とする愛知川、蛇砂川とともに有力な地下水の供給源となっている。取水可能量2,000<sup>㎡</sup>地下地点間の適正距離は100m程度。水質良好(ほとんど鉄分がない)水温16~18℃である。近江八幡貝弁線に沿う一帯の地層は表土15~30mで、下層は礫層も透水性が高く従って地下水は極めて豊富である既存井戸、簡易水道、電探調査などの資料から、自由面地下水位は地表から5.5m~7.5mである。このため被圧地下水を得ている例は少ないが、深度60~90mに達すれば帯水層が存在する。

#### ② 上水道、工業用水道

全市域上水道が布設されており30%程度で利用できる。既設揚水機の取水状況からみて群井干渉も小さく、地下の沈下のおそれはない。工業用水道については、中部工業用水道の計画はあるが、実施年度は昭和56年ぐらいに遅れる。

### 6 輸送施設

名神高速道路八日市インターチェンジより大阪、名古屋へ90分程度であり、国道307号線を利用すれば彦根、国道1号線(水口)へ30分である。

市内は、主要地方道近江八幡貝弁線が東西に通過しており国道8号線までは15分である。

鉄道は、私鉄近江鉄道により東海道本線米原駅、近江八幡駅、草津線貴生川駅に連絡している。

### 7 電力

八日市変電所は6万kVAであり、6km程度のところであれば企業側に負担をかけないで供給できる。電力需要は特に問題はない。

# 企業同和のあり方

今日、同和問題が国民的課題とされ、大きな社会問題となっている折柄、企業もこれを避けて通ることはゆるされない。むしろ、企業活動のうえで同和問題を積極的に位置づけて考えなければならない。それには、「人間尊重」の精神に基づき、経営者は経営者の立場から、従業員は従業員の立場から同和問題を正しくとらえらるとともに、一部の者の問題としてではなく社内全体の問題として、また、同和問題を特別視するのではなく、他のいろいろな問題を民主的に解決する方法の中で位置づけ、これらの真の理解と進歩が企業の発展と結びつくと確信から出発することである。

同和对策審議会答申は、「同和地区住民にたいしては、職業選択の自由、すなわち就職の機会均等が保障されていないことが重大である。」と述べている。

昨今の厳しい経済情勢下にあつて、同和地区住民の就職問題を考えるとき、これを受け入れる企業の考え方や態勢が、正しい理念と新しい感覚をもったものでなければならない。

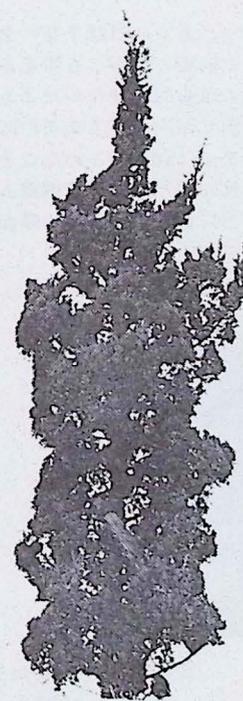
- いかなる場合であっても、本人の人権・人格を尊重し、決してこれを侵さない。
- 採用選考にあたっては、あくまでも「公平な選考」を実施する。(応募者の能力・適性が、求める職種とどう合致するか的一点によって選考し、本人になんの責任もないことがら——例えば居住地・家庭状況・生い立ちなどは、一切選考の対象としないこと)
- 従業員の労務管理については、企業そのものは常に経済の変動に左右されるとはいうものの、従来のように臨時、パート等安易な採用と解雇のくりかえしはさげ、安定した職業による採用を心がける。
- 明るい職場づくりで近代的な労務管理を目指す

し、誰れもが楽しく喜んで働ける職場の実現につとめ、いやしくも、部落差別による転・離職などぜったいないようにする。

(過去における差別事象のほとんどが、事象の処理をうやむやにしたり、逃避的な心理が働き正しく指導できなかった。そのためにも)

- 経営者や管理的・指導的立場にある人が、同和問題について正しく指導できるようにこの問題について理解し、認識を深める研修につとめなければならない。

こうしたことについて、行政の指導を受けるとともに、企業が社会的責任として、積極的に取り組むようにしていきたい。



## 八日市商工会議所の未来像

まず会員数の飛躍的な増加が考えられる。従来会員は、市内商工業者の約40%に過ぎなかったが、その後連帯意識の向上と相互的な改善・発達の努力の結果、会員数は著しく増加し市内全商工業者のほぼ90%が加入するに至り、全国有数の組織率となり、誇るにたるものとなる。

つぎに八日市商工会議所の総予算がほとんど会員の会費収入によってまかなわれている。これも、会員の相互扶助の精神と自立意識の昂揚が会員間に行なわれ、八日市商工会議所もその本来あるべき姿にまで到達したといえることができる。

最後に八日市商工会議所の機能の革命的な増強をあげねばなるまい。

いちやくコンピューターが導入され、会員のあらゆるデータが、コンピューターに把握され、企業照会、税務、金融などに必要なすべての書類は、ボタン一つで瞬時にそろえるのである。

データの変貌は、刻々プログラムに打ち込まれ、今日只今の姿が、間髪を入れずに提示される訳である。

組織率90%、あるいは総予算の会費収入による編成といった前述の全国にも類をみない優秀さも、全ての機能の革命的な強化のたまものであり、会員増強のお蔭で市内全商工業者の90%のデータをコンピューターに記憶せしめることができたのであり、総予算のほとんどが会費収入によってまかなわれることによって、機能の革命的な強化が可能になったのである。



20周年記念特別委員会副委員長

長野重衛

## 地元商店街の展望

遠く聖徳太子の昔より、市場町として輝かしい伝統を誇る八日市にも時代の波は激しく、容赦なく打ち寄せた。

ヒカリ屋、平和堂、西友ストアと矢つぎ早に都会的センスあふれる量販店が出現し、地元商店街は、防衛に四苦八苦といった現状です。

しかし、いたずらにスーパーに競争を挑むことより、まず商店街自身の体質改善が急務だろう。

地域的な再開発、商店・商品の専門化、駐車場の増設、さらには今後の低成長時代における消費者志向の上に立った経営者自身の考え方や姿勢の改善等々、物心両面にわたる改善・実行の勇気が、商店街永久の繁栄につながるものである。

一方、行政面における振興施策も見のがすことのできない重要課題である。将来、湖東地域の中心として魅力ある大八日市市をめざして、人口増加対策を早急に進めるべきでしょう。

各施設の充実、住宅の増設など、困難な財政の中においても、商工業振興施策としての行政への働きかけをより活発になすべきである。

### 八日市のないないづくし

- ① 人口が少ない
- ② 財政基盤が安定しない
- ③ 顧客を誘致する観光資源が少ない
- ④ 地場産業が少なく、特産物が少ない
- ⑤ 交通網が行き届いていない

力を合わせて1日も早く、八日市をあるあるづくしにしたいものです。



20周年記念特別委員会委員

大洞 巖

## 八日市商工業の今昔



大正時代の市場風景



昭和50年：開市記念祭の朝市風景

# 八日市商工業の今昔

## I 古代の八日市

### 金柱宮跡

八日市とその周辺をあるいて、古代の遺跡を探するために、まず、延命寺山に登って湖東平野を見たい。このあたりは愛知川の洪水によってできた洪積層に人が住み、文化が育った。瓜生津・鯉江・上岸本・三津屋・浜野などの地名も、古くには琵琶湖の入江がこのあたりまで入っていたことを想像させる。

さて、上代の遺跡を延命寺山古墳から瓦屋寺古墳、布施の溜、蒲生野、太郎坊山麓の金柱宮跡、市辺皇子墓などと見て歩くと、古代の八日市の周辺の文化が浮んでくる。すこし遠く離れた地域には安土町と能登川町にまたがる大中の湖南遺跡、安土町の瓢箪山古墳、蒲生町の石塔寺三重石塔、日野町の鬼室集斯墓などがあり渡来人の文化遺跡がたくさんある。

これらの遺跡から八日市とその周辺の古代を連想し、狩猟生活が農耕生活に発展し、さらに商品流通がさかんに行なわれて市場が栄えるようになってくる過程を考えると、金柱宮跡にまつわる狼の長者の伝説が、八日市でもっとも古い商工業に関する話として浮んでくる。『梁塵秘抄』に「近江におかしき歌枕老蘇蘇、蒲生野布施の溜、安吉橋や伊香具野、余呉の湖の浦に新羅が建てたりし持仏堂の金の柱」とあり、その金柱宮跡にはりっぱな石碑が建っている。明治になって、神仏分離の旋風が吹いたとき、阿賀神社に合祀したが、その宮跡からたくさん古銭が発掘された。

金柱は金の延べ棒だと考えたり、祭具でないかという民俗学的解釈もあるが、狼の長者の持仏だったと伝える瓜生津慈眼寺の金銅聖観音像（近江最古の仏像で重要文化財）などもあって、このあたり一帯が渡来人によって経済や文化が開発されたと考えられる証拠でもある。



金柱宮之址

### 聖徳太子の開市

八日市の市場が、いつごろ、どのようにしてできたかについて諸説がある。もっとも一般的に知られているのは「八日市市神之本記」に記されている聖徳太子開市説である。聖徳太子が大阪に四天王寺を建てたとき、瓦屋寺で瓦を焼いた。瓦の土を掘った跡が日吉の溜である。その時、瓦を焼く職人を百戸あまり筏川のほとりに住ませ、市場を開いたのが八日市のはじまりという。この市神の本記は慶長15年(1610)に書いたというから、開市説の信頼度はうすい。市神神社はいまも町の中央にあり、市場の神である事代主命をおまつりしている。『和漢三才図会』にも「推古天皇九年に聖徳太子市を始む」とあり、八日市の開市と聖徳太子が結びつくのは理由のあることで、八日市付近には石塔寺・石馬寺・観音正寺など聖徳太子を開基とする寺が多い。



これらの史料によって、八日市周辺で商業が盛んになったことを証明するものである。

八日市では他地方の商人が商売するとき、市場税をとりたてた。

請取八日市庭沙汰用途事  
合陸貫文者  
右且所請取如件  
応安七年六月二日

二領 花押

これは直接税の史料である。築田氏文書によると、東大寺へも冥加銭を納めていた。これは瓦屋寺が東大寺の末寺だったからであろう。

ところで得珍とは何者であろうか。伝承の城を脱しないのでよくわからないが、尻無の妙応寺が得珍の開基の寺として、毎年法要を営んでいる。高井川を作ったともいう。高井川は愛知川から水を引き、池田・今田居・大森・尻無・下二俣・柴原・今堀・蛇溝・市辺の諸地域を流れる灌漑用水である。

**近江源氏と市場**  
近江源氏佐々木氏は、中世の近江を400年も守護として支配した豪族だが、そのはじめ佐々木氏が、太郎坊山麓の小脇館に住んでいた関係で、佐々木定綱が市場を奨励し保護したと考えられる。小脇館跡は今里からまっすぐ北へ行くと山麓にわずかに石垣をのこす遺跡がある。



佐々木氏の小脇館跡

建久元年(1190)には源頼朝が上洛の帰りに小脇の館に宿泊した。嘉禎4年(1238)にも源頼朝が京都から鎌倉へ帰るとき、佐々木定綱の子の信綱が、御所を新造して迎えた記録も残っていて、その名残りとして、小字名に大門が現存する。

このころ中仙道は愛知川から、八日市へでて小脇の宿を通り武佐にでるコースを使ったという。それから南北朝の戦乱がすむと、佐々木氏が中仙道を監視する必要から観音寺山に移ったため、小脇館や駅舎がおとろえた。『実暁記』という古書によると、建武2年(1335)7月の記事に守山から鏡、武佐、蒲生野、愛知川へでた記録があり、里程まで書いてある。

佐々木氏は『平家物語』にでてくる宇治川の先陣で活躍した四郎高綱らの功により、近江国の守護をつとめたが、広綱に至って京都に六角洞院の邸をもらった。やがて、六角氏から京極氏がわかれ、京極道誉という婆沙羅大名で名高い人物もでた。また、観音正寺を外護したり、永源寺を創建したり、長命寺の三重塔を修理するなど、戦国の武将として君臨したため市場の発展にも力をつけたものと考えられる。

**金屋の鋳物師**  
中世の近江商人のなかで、八日市市の野々川、愛知川町の沓掛、五個荘町の小幡、蒲生町の石塔を四本商人と称し、主として、塩・相物・木ワタ・ワゲモノ・麻の芋などを扱っていた。建部商人は油、保内商人は呉服が主であったという。これらの商業とならんで、金屋の鋳物師の生産がある。金屋の野々宮神社に天福年間の銘のある釣燈籠とともに薄墨御倫旨がある。これは蔵人所牒であって、一種の特権を与えられたものと考えてよい。もちろんこの文書は真偽の疑いがあるが、長命寺の『結解記』に「八日市之鋳師本堂ワニグチの事」と書いてあるし、河桁御河辺神社の鐘銘に「大永二年十二月十二日八日市新兵衛」などとあって、金屋鋳物師の作品がたくさんある。

また、この当時のものと考えられる中国古銭が延命屋敷からたくさん出土したことからかなり金

融方面もさかんであったと想像される。



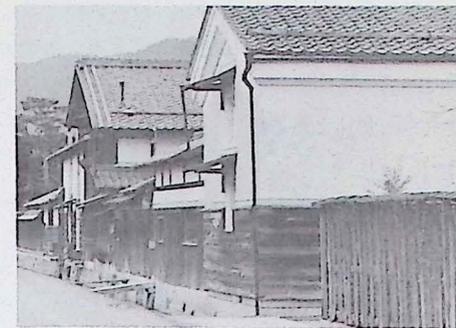
金屋鋳物師の作品

**建部油座**  
八日市の「福原氏文書」に、つぎのものがある。

当国油座事  
任<sub>2</sub> 先規之旨<sub>1</sub> 座人外売買之儀堅令<sub>2</sub> 停止<sub>1</sub>  
乎 聯不可<sub>2</sub> 相違<sub>1</sub> 候也  
天正四年七月廿七日  
朱 印(天下布武)  
江州建部油座中

この史料によって、八日市の建部郷に油座商人がいたことを証するものである。油は古くから石清水八幡宮の専売であり、同社の許可がないと販売することができなかった。原料の荏胡麻の運送にあたって、関所で通行税をとられない特権をもっていた。そこで、山本・平坂・石塚・堺に八幡社があり、伊野部、奥村・下野・上日吉などには境内社として八幡宮があるのは油座の関係である。また、応永4年(1397)の5月26日付の幕府の下知状に摂津と江州小秋(小脇市)に油座があることを記している。

また、『信長公記』にも天正4年(1576)に安土築城のとき、信長が建部油座に対し安堵状を出したと記録されている。



油座商人の旧家

### III 近世の八日市



安土城跡

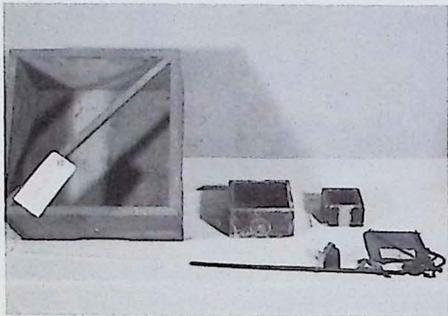
**安土城下の楽市**  
安土に城を築いた信長が、城下に楽市を開いて、町の繁栄を計ったことは有名だが、それが八日市に影響を与えた。前述の「市神之本記」が慶長15年(1610)に書かれて、市神社が栄え行商から座商が発達したようである。中世の商業は、荘園領主から保護をうけた一定の商人によって独占的に営業されたが、信長時代から秀吉時代にかけて、むかしの特権を否定し、新しい市で自由な商売をした。

近世の八日市の市場で注目したいことは、延宝6年(1678)に、御代参街道の宿駅となり、問屋ができ、荷物や宿舎を監理したことである。問屋には帳簿をそなえ、皇族、公卿、大名などの宿場の印鑑をうけ各荷物をつぎの駅に送った。

寛政11年(1799)に彦根藩国産取立の趣旨により小幡に市場を許し、八日市と衝突せずに行なうためこちらは毎月五と十の日の月6回の市を開き、冥加三貫匁納入せよとしている。八日市は二日と八日の6回であった。「八日市共有文書」の慶応2年(1866)のものをみると、市場高上納金が「四貫百六十四文」とある。

**八日市栴** 八日市付近の栴は約20種くらいあったが、佐々木栴と武佐栴が標準で、8合2勺を1升とした。この付近のものをしらべると次のようであった。

- |        |                |
|--------|----------------|
| 八合升定   | 永徳4年(1384) 正月  |
| 小升(古升) | 永正7年(1510) 10月 |
| 庄升     | 弘治3年(1557) 11月 |
| 柴原升    | 永徳元年(1381) 12月 |
|        | 以上今堀日吉神社文書     |
| 武佐升    | 明応8年(1449) 4月  |
|        | 大徳寺文書          |



八日市栴

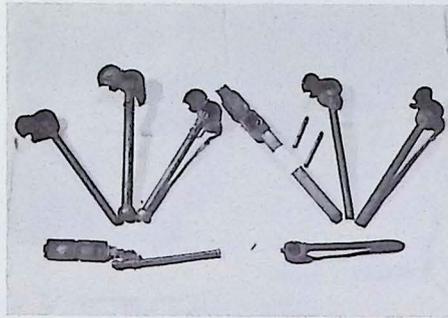
八日市栴がいつできたかよくわからないが、その古栴が八日市の福原氏に所蔵され、享保15年(1730)7月に心学者の沢村琴所が「八日市栴之記」を書いている。

これによると、織田信長が一つの升を渡して近江の江南の諸郡でこの升を標準にしたいらしかつた。

栴は方四寸四分、深さ二寸四分という。だから約8.17合である。だいたい武佐栴と同じであった。なぜ8合栴で1升にしたかという、佐々木氏が

80万石を100万石と公称したかったからである。しかし、実際は年貢をとるとき大きい栴で1升とし、支払いのときは小さな栴で1升と数えたのである。

**八日市矢立** 近世の近江商人が行商にでかけるとき、かならず、諸国絵図と矢立を持って行った。そして、天秤棒に荷をかついで全国に飛んだ。その矢立は真鍮銅で作られ、帯にはさむ軸と、墨壺に筆入れがついていて、いまの万年筆である。



八日市矢立

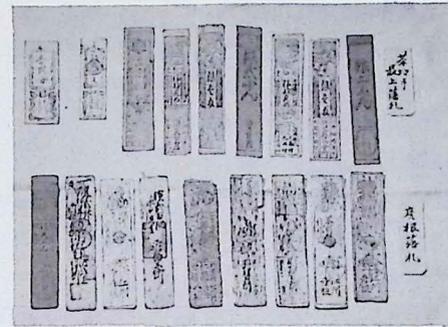
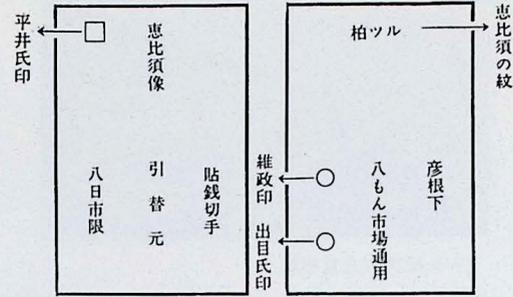
八日市矢立と称されたものは、墨汁のかわかないのと、墨壺と筆入れとの境の蠟付が巧妙で、米一俵を吊りさげても分離しないのが特色である。

八日市矢立の製造家は浜野の小森弥兵衛という人で、商標にを刻んでいた。維新ごろは1挺1分ぐらいで、ごく上等のものでも二分三朱だったという。

**八日市通用切手** 藩札は引換えの金額と引換場所が書いてある小切手で藩内だけでなく、他藩でも流通し、補助貨幣としてさかんに使われた。彦根藩にもあったが、最上藩のは茶切手と称された。引換場所は清水町の米屋五兵衛で、銀匁分の3種類があった。

ところで、興味ふかいは八日市通用切手のことである。八日市市場に限って、4種類の小切手がある。八日市は井伊領・三淵領・奥山領にわかれていたので、小切手にも、奥山領の福原氏、三淵領の出目氏、井伊領の平井氏が検印している。

八日市通用切手には4文、8文、16文、24文があり、八日市市場でのみ価値をもっていた。



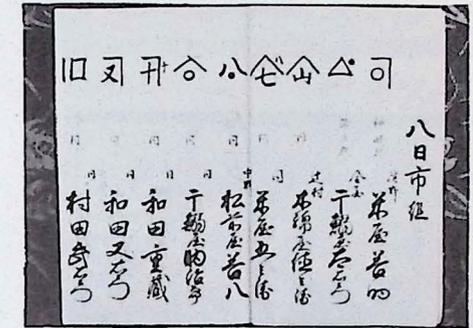
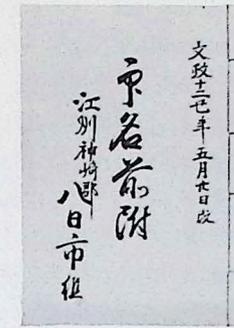
通用切手

#### 近世の八日市商人

井伊藩では宝暦6年(1756)に株仲間をみとめ、商業の発展を考えている。文政12年(1829)の肥料商組合名簿が八日市と敦賀、小浜にも残っているので、清水町の山田氏文書のなかから八日市組の氏名をあげておこう。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 浜野 米屋善助    | 中野 和田又右衛門   |
| 金屋 干鰯屋太右衛門 | 中野 村田武右衛門   |
| 辻村 米屋五兵衛   | 今在家 納屋新五郎   |
| 辻村 木綿屋徳兵衛  | 古保志塚 広瀬新五郎  |
| 中野 松前屋善八   | 古保志塚 西村九郎兵衛 |
| 中野 干鰯屋助治郎  | 古保志塚 米屋勘兵衛  |
| 中野 和田重蔵    |             |

これらの株仲間の記録をみると、当時の活躍ぶりがよくわかる。



山田氏文書

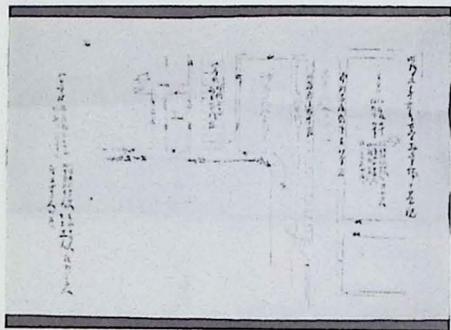
## IV 近代の八日市

### 明治前期の市場

市神社のむかいにある間屋は、三納屋高野弥兵衛といつた。また、本町通りに飛脚屋があり、近くに宿屋茶屋もあった。草鞋、駄菓子を売る店があり、女郎屋もあった。御代参街道と八風街道の交通量もかなりなものだった。慶応年間の小浜肥料問屋の名簿中の米屋中沢善助は明治15年(1882)の全国長者番付にでている金持ちで、明治維新にあたって井伊藩に金を貸している。井伊大老の腹臣長野主膳は中沢善助に金策を頼んでいる。井伊家へ貸した金は9万両といわれ、その他の大名に貸した金は40万両という。

ところで、明治5年(1872)の大火で、浜野をはじめ、市場から八日市のほとんどを焼いた。市神社にのこる史料によると、八日市が5割、浜野が7割を焼失したという。やがて町が復興するが、それまで市場は金屋通りで行なわれ、市日は2と8の日だけであった。

**八日市場争い** はっきりした年代は、よくわからないが、明治18年(1885)から同20年(1887)ぐらいの間に、市場の魚屋連中が、大相撲の勧進をした。これに対し、金屋の商人は個々に花を出したが、八日市は組合でまとめて花を出した。がその金額が少なかった。そこで、魚屋連中が憤慨して八日市の市場に店を出さぬことを決議した。ちょうど、熊本治右衛門が新道を開いたときだったので、魚屋連中に場所を提供した。そこで、八日市と金屋が市場の争いを始めた。金屋は明治5年(1872)3月15日に「開市場御届書」を出していた。明治14年(1881)に滋賀県は市場に

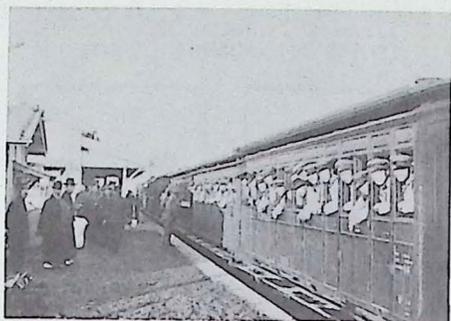


明治19年の市場の景況

についての条令を出したので、無届の八日市の市場に閉鎖命令がでた。あわてた八日市では福原維淳・西川平兵衛・村井善六らが嘆願書を出すことになった。そこで、県令中井弘が市場開設を許可した。しかし、県条令により「隣接地ニ同種類ノ市場二ツハ認可セズ」とある項目により反対がおり、八日市と金屋の市場争いは明治22年(1889)に合併して八日市町が発足するまで続いた。

**明治中期の交通と商業**

町の発展を考えると、水と道と人との三つの力が根本的な問題となる。八日市にとって、水の不足が大きく発展を阻止してきたようだ。明治中期になると、御代参街道・八風街道のほかに、八日市道・八日市停車場道・八日市警察署道・八日市御園線・旭八日市線・八日市百濟寺道などが改修された。明治29年(1896)には近江鉄道が八日市と彦根間にできた。



古き時代の八日市駅

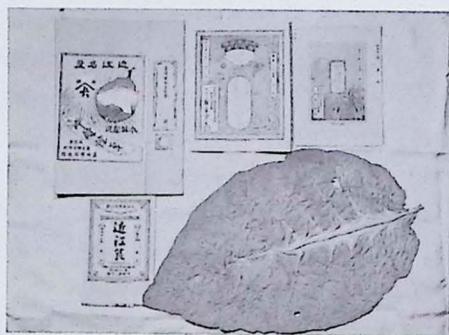
明治5年(1872)2月1日から八日市郵便取扱所ができ、福原維淳が取扱人となった。明治18年(1885)には八日市駅伝取締所も兼ねて荷車や、軽運車馬車などの鑑札を出した。明治19年(1886)には八日市郵便局となり、明治26年(1893)には八日市郵便電話局となった。

そして、八幡銀行八日市支店や近江商業銀行について、明治38年(1905)に近江銀行が本町通りにできた。

これら、交通・通信・金融機関の発達で、市場がたいへん発達した。

**八日市煙草取締所**

明治29年(1896)に葉煙草専売法が実施されて、政府の事業となった。そこで、明治38年(1905)には八日市専売支局ができた。八日市の煙草は「八日市煙草」とか、「中野煙草」といわれ有名である。



八日市煙草

明治12年(1879)の「滋賀県物産誌」によると、八日市町(葉煙草 1020貫、耕地 2町4反)御園村(葉煙草 1500貫、耕地 8町1反)建部村(葉

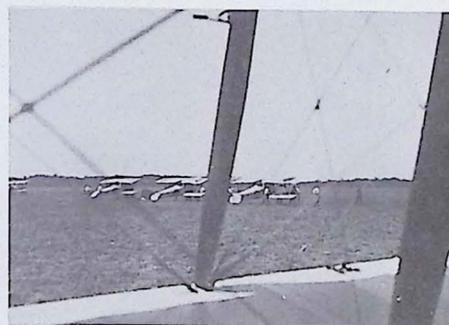
煙草 414貫、耕地 1町)の統計がでている。専売法は耕作者を監視し、葉煙草の収穫前と乾燥後に検査し、専売局に納めると、局では煙草製造業者に渡した。八日市煙草取締所が管理した耕作地は 300余町歩であった。明治37年(1904)になって、製造煙草専売法ができて、取締所は大阪専売支局八日市葉煙草収納所と、八日市分工場とにわかれた。そして、大正10年(1921)には名古屋地方専売局彦根出張所八日市煙草取扱所となった。

**明治後期の工場**

明治42年(1909)には、浜野の岡崎彦次郎が技術を担当し、森藤助の資本で、織維工場ができた。この工場は発展して、明治44年(1911)には金屋に近代的な岡崎製織場ができた。そして、後に、滋賀織物合資会社、岡崎撚糸工場、神崎製織合資会社、八日市織布合名会社などもでき、滋賀織布株式会社に発展するのである。

**大正時代の八日市**

明治末期に八日市実業聯合会が組織されて、商工業の発達が計画されたが、大正時代に至ると、八日市飛行場ができて、急速に発展した。大正11年(1922)3月に発行された奥井清弘著『八日市と飛行場』によって、概略を知ることができる。八日市飛行場を設立したのは民間飛行家の萩田常三郎・熊本九兵衛・横畑耕夫・フランク・チャンピオン



八日市飛行場

らで、沖野が原に15万坪の土地を買って、翦風飛行学校の設立に努力したが、大正4年(1915)に萩

田常三郎が突然の事故によって死亡したため、滋賀県飛行会を結成し、八日市飛行場の設立に尽力し、やっと飛行第三大隊が実現した。



大正時代の市場

飛行場ができると、町に軍人があふれ、商工業がいちだんと発達し、娯楽施設も、大正座の前身である清楽館やいろは館(現東本町)ができ、万才館(現昭和映画劇場)もできた。

また、大正10年(1921)には、新地にお茶屋が48戸もあった。

**現代の八日市**

大正大震災に続いて、農村が貧乏となり、八日市でも銀行がつぎつぎとつぶれた。八日市の商工業も苦難の時代を迎えた。昭和3年(1928)ごろの工場には、岡崎製織工場(女帯地)、八日市織布会社(紬類帯地)、丸越機業部(女帯地)、桶屋製茶再製工場(製茶)、近江酒造会社(醸酒)、野村手套製造所(軍手)、松下靴下工場(靴下)などがあつた。

『近江神崎郡志稿』によると、東京・大阪・京都・朝鮮などで活躍した八日市出身の商人もかなり

あった。

昭和9年(1934)に筏川の覆蓋工事が完成して金屋大通りに商店ができ、天理教湖東大教会もできた。戦時中は統制経済により配給制度が実施されたいへん商工業が低調であった。そして、昭和20年(1945)8月15日終戦を迎えた。

戦後はしばらく荒廃が続き、商業も不振だったが、やがて各方面にわたって復興し、高度経済成長の年を迎えるに至った。聖徳中学校・八日市北・南・西の各小学校が新築され、中央公民館ができ、延命公園が改修された。道路がよくなり、スーパーが進出し、工場もいくつかできた。本町通りや金屋大通りの商店街も賑わい、夜市や歩行者天国の日もでき、行政ニュータウンに槌音のひびく日が続いている。

八日市市は新しく発展するため、さまざまな問題をかかえながら、自転車都市などのアイデアのある都市計画を進め商工業の面でも躍進を期している。

# 八日市商工会議所議員・監事

## 常 議 員



大 洞 巖  
ま つ ば 理 容  
代 表 者



北岸幸太郎  
有限会社丸幸自転車商会  
取 締 役



喜多俊介  
㈱大昭和紙工製造八日市工場  
取締役工場長



北岸正次  
い た や  
代 表 者



北 川 脩  
八日市パルプ工業株式会社  
専務取締役



小嶋外夫  
小嶋肥料株式会社  
代表取締役



笹井太一  
近江印刷  
代表者



前田正武  
大林ハウジング㈱八日市工場  
取締役工場長



北川一雄  
株式会社滋賀銀行八日市東支店  
支店長



松吉勝司  
株式会社アラカツ  
代表取締役



長野重衛  
滋賀産業株式会社  
代表取締役



村田志郎  
有限会社キクヤ薬局  
代表取締役



堀井寅藏  
協楽興業株式会社  
専務取締役



村田八郎  
湖東信用金庫  
理事長



前川恕  
前川木材株式会社  
代表取締役



吉田房治  
吉寅木材工業株式会社  
代表取締役

監事



久保謹吾  
伊藤証券㈱八日市支店  
支店長



山田晴一郎  
合名会社かじ藤商店  
代表社員

議員



今宿三郎  
そとや  
代表者



大西文藏  
大文縫製  
代表者



白井善勝  
やなぎや  
代表者



奥源三  
株式会社奥鉄石油燃料店  
代表取締役



小川信太郎  
小川正文堂  
代表者



小沢国太郎  
小沢電器商会  
代表者



辻川敬一  
有限会社辻川一六堂  
代表取締役



西沢高弘  
吉勝  
代表者



勝山進一  
関西電力㈱八日市営業所  
営業所長



小西進  
近江屋寝具店  
代表者



富田芳雄  
中日本観光株式会社  
代表取締役



西田芳夫  
西田印刷所  
代表者



加増昭蔵  
山治うば車店  
代表者



鈴木半三郎  
神愛社  
代表者



中沢新三郎  
中沢製作所  
代表者



野田貞夫  
一二三堂  
代表者



木村豊一  
株式会社木村鉄工所  
代表取締役



田中藤三郎  
ワタナベ電機株式会社  
代表取締役



中村秀敏  
株式会社招福楼  
専務取締役



畑喜内  
株式会社国華商会  
代表取締役



楠林勸二郎  
楠林時計店  
代表者



辻伝造  
有限会社ホテルミッチー  
代表取締役



西沢喜兵衛  
西喜重工株式会社  
代表取締役



森喜造  
近江バス株式会社  
専務取締役



深尾寅之助

深尾商店  
代表者



前田春吉

有限会社前田クリーニング商会  
代表取締役



二橋貞雄

太陽コンクリート工業株式会社  
取締役



回瀨治二

有限会社花治商店  
代表取締役



三原貞治郎

三原屋呉服店  
代表者



村田梅吉

村田石油株式会社  
取締役社長



村防龍雄

村防工業株式会社  
代表取締役

### 議員任期一覽表

氏名	期別	1	2	3	4	5	6	7	8	摘要
	年度	31. 2. 8 32. 9. 30	32. 10. 1 35. 9. 30	35. 10. 1 38. 9. 30	38. 10. 1 41. 9. 30	41. 10. 1 44. 9. 30	44. 10. 1 47. 9. 30	47. 10. 1 50. 9. 30	50. 10. 1 53. 9. 30	
司松兵衛										
今宿泰藏										
小梶三右衛門										
森井 澗										
村田 和平										
池田 峯次郎										
内片 陸 郎										
平田 謙之助										
小島 弘太郎										
二橋 貞治郎										
井村 平三郎										
斉藤 香 苗										
山田 平 治										
重森 文 二										
福原 捨次郎										
山田 平治郎										
久保 半左エ門										
松本 政次郎										
外村 伊 八										
喜多 良 三										
藤川 勝太郎										
奥野 筆 吉										
久田 英 二										
村田 信一郎										
前川 捨 藏										
多田 富 藏										
岩根 宇一郎										
梅辻 貞一郎										
高村 幸 一										
辻川 敬 一										
北岸 幸太郎										
梅原 康 三										
福井 八右エ門										
田中 外次郎										
向 政五郎										
山田 隣之助										
西堀 栄次郎										
尾羽 隆										
遠藤 三 郎										
仙波 玄 一										

会 頭 ~~~~~  
 副会頭 ~~~~~  
 監 事 ~~~~~  
 専 務 ~~~~~  
 常議員 ~~~~~  
 議 員 ~~~~~

氏名	期別								摘要
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	31.2.8 32.9.30	32.10.1 35.9.30	35.10.1 38.9.30	38.10.1 41.9.30	41.10.1 44.9.30	44.10.1 47.9.30	47.10.1 50.9.30	50.10.1 }	
大橋 司									
西田 吉			~~~~~						
三浦 忠			.....						
寺田 昇之助			.....						
野畑 忠次郎			.....						
村田 梅吉			.....						
藤田 莊太郎		~~~~~							
高木 市治		~~~~~	.....						
珠玖 義造		~~~~~	.....						
福原 憲治		~~~~~	.....						
中西 太郎		.....	.....						
北岸 光治		.....	.....						
志賀 末男		.....	.....						
前田 春吉		.....	.....						
松宮 藤一郎		.....	.....						
村防 竜藏		.....	.....						
小梶 信次		.....	.....						
小嶋 外夫		.....	.....					~~~~~	
山吉 勝司		.....	.....					.....	
小沢 庄太郎		.....	.....						
小高 文助		.....	.....						
高岡 嘉一		.....	.....						
岡治 常太郎		.....	.....						
辻 卯市		.....	.....						
小島 晋三		.....	.....						
奥村 富士男		.....	.....						
森 稔		.....	.....						
藤井 幸雄		.....	.....						
菊井 徳藏		.....	.....						
畑 善一		.....	.....						
西沢 久兵衛		.....	.....						
奥村 茂		.....	.....						
川村 金一		.....	.....						
野村 承一郎		.....	.....						
中沢 徳太郎		.....	.....						
岡崎 耕平		.....	.....						
倉垣 憲一		.....	.....						
西沢 定雄		.....	.....						
青山 善平		.....	.....						
久保 謹吾		.....	.....						

氏名	期別								摘要
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	31.2.8 32.9.30	32.10.1 35.9.30	35.10.1 38.9.30	38.10.1 41.9.30	41.10.1 44.9.30	44.10.1 47.9.30	47.10.1 50.9.30	50.10.1 }	
端 俊男				.....					
北村 繁太郎				.....					
松元 卯兵衛				.....					
榊村 貞三				.....					
奥村 晃一郎				~~~~~					
川副 清				~~~~~					
笹井 太一				~~~~~					
三上 二三郎				.....					
藤村 重吉				.....					
犬井 武雄				.....					
島林 義雄				.....					
小沢 安藏				.....					
小西 順一郎				.....					
海外 貞雄				.....					
沢田 健一				.....					
稲垣 皓一				.....					
辻 与惣二				.....					
今宿 市郎				.....					
喜多喜 久子				.....					
村田 八郎				.....					
木村 豊一				.....					
千田 信悖				.....					
北川 脩				.....					
前川 恕				.....					
石戸 慶次郎				.....					
鳥塚 太源				.....					
山田 晴一郎				.....					
堀井 寅藏				.....					
西川 平助				.....					
長野 重衛				.....					
川島 浩司				.....					
小沢 康二				.....					
高木 達也				.....					
松吉 郁郎				.....					
渡辺 福之助				.....					
楠林 勘二郎				.....					
辻川 敬一				.....					
奥出 栄司				.....					
国寄 喜代治				.....					
村防 龍雄				.....					
北岸 正次				.....					

氏名	期別	1	2	3	4	5	6	7	8	摘要
	年度	31.2.8 32.9.30	32.10.1 35.9.30	35.10.1 38.9.30	38.10.1 41.9.30	41.10.1 44.9.30	44.10.1 47.9.30	47.10.1 50.9.30	50.10.1 53.9.30	
速水九一										
中村秀敏										
沢田正造										
元治勝										
大洞巖										
小島修										
西村建司										
坂口実										
白井善勝										
大野勝太郎										
深尾寅之助										
今宿三郎										
古川晴一										
回瀨治二										
吉田房治										
佐藤源治郎										
松村篤之助										
重田宗平										
村田志郎										
前田正武										
喜多俊介										
富田芳雄										
田中藤三郎										
三原貞次郎										
西沢高弘										
辻伝造										
二橋貞雄										
加増昭蔵										
奥源三										
西田芳夫										
畑喜内										
大西文三										
西沢喜兵衛										
野田貞夫										
鈴木半三郎										
小沢国太郎										
小西進										
小川信太郎										
勝山進一										
中沢新三郎										
広瀬喜文										

## 八日市商工会議所創立20周年記念式典

創立20周年記念特別委員会を設置してこの事業を推進することになり、記念式典、商工名鑑の発刊及び記念事業を実施することになり、会頭より次の諸氏が委嘱され、協議の結果それぞれその関係部門が決定された。

委員長	前川 恕	副委員長	長野 重衛
式典委員長	北岸 正次	委員	回瀨 治二
			田中藤三郎
			西沢 高弘
編集委員長	笹井 太一	委員	大洞 巖
			喜多 俊介
			西田 芳夫
財務委員長	北岸 幸太郎	委員	村田 八郎
			勝山 進一
			前田 正武

式典は、昭和51年6月8日午前10時より八日市市中央公民館大ホールで、祝賀は正后より八日市商工会議所会館4F大ホールにおいて、250名余の来賓及び招待書を招いて盛大に挙行されることに決定した。

### 【当日のプログラム】

式典 10:00~11:40

司会

専務理事 阿部秀二

開会のことば	副会頭 渡辺福之助
物故役職員追悼	
来賓紹介	専務理事 阿部秀二
経過報告	委員長 前川 恕
挨拶	会頭 福原憲治
記念事業発表	副委員長 長野 重衛
表彰状授与	

日商会頭表彰状伝達  
 功労者表彰  
 勤続者表彰  
 感謝状贈呈

来賓祝辞

滋賀県知事	武村正義殿
八日市市長	山田正次郎殿
商工会議所連合会会長	西田善一般
県議会議長	小林隆殿
市議会議長	福原範彦殿
県会議員	大西文蔵殿

祝

舞  
 “永寿松竹梅” 吉治会 松 若柳治華  
 竹 若柳治翠  
 梅 若柳治扇

閉会のことば 副会頭 重田宗平

祝賀 12:00~14:00  
 司会 専務理事  
 阿部秀二

歓迎のことば 式典委員長 北岸正次  
 乾杯 前会頭 二橋貞治郎  
 アトラクション

商工名鑑作製に当たっては、編集委員が中心になり、内容を充実させると共に、頁数もふやし発刊することになった。

記念事業としては、八日市市の史跡案内板を近江鉄道八日市駅前及び名神八日市インター前の2ヶ所に設置すべく手続きを完了した。

尚、記念講演も開催すべく企画中である。

# 表彰者一覧表

(敬称略)

## 1、表彰状授与 会頭表彰

### (1) 功労者

元会頭	岡崎耕平
前会頭	二橋貞治郎
前副会頭	奥村晃一郎
前専務理事	北村繁太郎
前常議員	石戸慶次郎
前監事	西田藤吉
前議員	村田信一郎
商調協会会長	木村丈太
商連理事	杉山弘太郎
前総務課長	村田良三

### (2) 勤続者

20年以上	常議員	北岸幸太郎
	専務理事	阿部秀二
15年以上	議員	前田春吉
	"	村田梅吉
10年以上	監事	久保謹吾
	常議員	笹井太一
	総務課長	岡地宏
	金融課長	林清一
	3期議員	森稔
	"	辻与惣治

### (3) 日商会頭表彰状伝達

前会頭	二橋貞治郎
前副会頭	奥村晃一郎
前専務理事	北村繁太郎
前常議員	石戸慶次郎
前監事	西田藤吉
前議員	村田信一郎

### (4) 20周年記念委員長表彰

武田康男
川西耕三

## 2、感謝状贈呈

常議員	前川恕
"	北岸幸太郎
"	堀井寅蔵
"	笹井太一
"	松吉勝司
"	長野重衛
"	北岸正次

監事	山田晴一郎
議員	辻伝造
"	楠林勘二郎
"	中沢新三郎
"	木村豊一
"	回瀨治二
"	大西文蔵

生前商工会議所に尽された御功績を忍び謹しみて  
御冥福をお祈り申し上げます。 (敬称略)

八日市商工会議所

衛兵松司	司 濱 大	郎 郁 松
藏 泰 宿 今	治 市 木	郎 太 莊 藤
門 右 三 梶 小	造 義 玖 珠	次 信 梶 小
平 和 田 村	郎 太 村 中	八 十 八 中 田
助 之 謙 田 平	治 光 岸 北	三 良 永 福
助 謙 之 田 平	男 末 賀 志	吉 寅 沢 小
助 謙 之 田 平	郎 一 藤 宮 松	以 上 40 名
苗 香 藤 齋	藏 竜 防 村	
二 文 森 重	郎 太 庄 山 田	
郎 治 捨 原 福	助 文 沢 小	
門 左 半 保 久	郎 太 常 治 岡	
三 良 多 喜	夫 士 富 村 奥	
郎 太 勝 川 藤	郎 一 承 村 野	
郎 一 貞 辻 梅	平 善 山 青	
一 敬 川 辻	衛 兵 卯 本 松	
門 右 八 井 福	雄 義 林 島	
郎 次 外 中 田	藏 安 沢 小	

# 八日市商工会議所事務局職員



▲事務局職員

▼事務室全景





## 編集後記



商工名鑑編集委員長

笹井 太一

当商工会議所創立15周年の記念事業として「商工名鑑」を発売以来、まだ日も浅く昨日のここのように思われますが、このたびここに20周年記念「商工名鑑」を発売いたす運びとなりました。

編集にあたっては、内容の充実と正確さを期するよう最善の努力をしましたが、資料や記述の不備・誤謬など、未熟ゆえご満足いただけないのではと危惧いたしておりますが、大方江湖のご寛容をお願いするとともに、皆様のご批判ご叱正を得て今後の戒とし次回の完璧を期したいと存じます。

最後に、「商工名鑑」発売にあたり多大のご協力を賜りました関係各位ならびに事務局の諸君に心より御礼申し上げます。

20周年記念商工名鑑編集委員会一同

### 八日市商工名鑑

昭和51年5月20日 印刷

昭和51年6月1日 発行

編集 八日市商工名鑑編集委員会  
 発行者 福原 憲治  
 発行所 八日市商工会議所  
 〒527 滋賀県八日市市浜野町3-27  
 TEL (07482) 2-0186~8

印刷所 北村印刷所  
 〒527 滋賀県八日市市本町10-16  
 TEL (07482) 2-3053(代)

## 八日市商工会議所 役員・議員・顧問

八日市商工会議所役員・議員・顧問					
役名	氏名	事業所名	業種	住所	電話
会 頭	福原 憲治	⑧神崎倉庫	倉庫業	浜野町1-6	2-0037
副 会 頭	渡辺福之助	八日市小型運送(有)	運送業	建部日吉町	2-3322
"	重田 宗平	丸八八日市魚市場(株)	生鮮魚介卸	浜野町3-8	2-1570
専務理事	阿部 秀二	八日市商工会議所		今堀町431-1	2-3360
常 議 員	大洞 巖	まつば理容	理容	本町4-2	2-1369
	喜多 俊介	(株)大昭和紙工製造八日市工場	紙袋製造	妙法寺町	2-5551
	北川 脩	八日市パルプ工業(株)	パルプ	浜野町6-3	2-2088
	北岸幸太郎	(有)丸幸自転車商会	自転車販売	小鷗町1409	2-0792
	北岸 正次	いたや	料理、旅館	本町14-4	2-0047
	小嶋 外夫	小嶋肥料(株)	肥料販売	中野町746-2	2-0025
	笹井 太一	近江印舗	印刷、印判	上之町5-20	2-0433
	北川 一雄	(株)滋賀銀行	金融業	本町13-11	2-1231
	長野 重衛	滋賀産業(株)	室内装飾品販売	野々宮町2-3	2-4555
	堀井 寅蔵	協楽興業(株)	興業	本町10-2	2-1016
	前川 恕	前川木材(株)	木材販売	建部日吉町385	2-0830
	前田 正武	大林ハウジング(株)八日市工場	住宅、プレハブ部材	蛇溝町	2-6255
	松吉 勝司	(株)アラカツ	洋服、服地販売	本町13-6	2-0162
	村田 志郎	(有)キクヤ薬局	医薬品販売	本町6-16	2-0008
	村田 八郎	湖東信用金庫	金融業	金屋1丁目2-3	2-2020
	吉田 房治	吉寅木材工業(株)	木材販売	小鷗町2292	2-0485
監 事	久保 謹吾	伊藤証券(株)八日市支店	証券業	清水1丁目9-19	2-2460
	山田晴一郎	(有)かじ藤商店	金物、セメント販売	八日市町13-19	3-2500
議 員	今宿 三郎	そとや	青果卸小売	栄町3-30	2-0434
	白井 善勝	やなぎや	洋傘、ショール小売	本町14-27	2-1181
	大西 文蔵	大文縫製	縫製業	芝原町1104	2-0452
	奥 源三	(株)奥鉄石油燃料店	石油製品販売	東浜町4-7	2-3050
	小川信太郎	小川正文堂	書籍販売	本町7-3	2-0441

八日市商工会議所役員・議員・顧問

役名	氏名	事業所名	業種	住所	電話	
議 員	勝山 進一	関西電力(株)八日市営業所	電力供給	東浜町	2—2111	
	加増 昭蔵	山治うば車店	玩具販売	本町2—8	2—0417	
	木村 豊一	(株)木村鉄工所	鉄骨建築業	清水2丁目4—4	2—1634	
	楠林菫二郎	楠林時計店	時計、電気製品販売	栄町3—28	2—0510	
	小沢国太郎	小沢電器商会	電気製品販売	八日市町10—12	2—0326	
	小西 進	近江屋寝具店	寝具販売	本町2—8	2—0419	
	鈴村半三郎	神愛社	牛乳販売	八日市町6—6	2—0039	
	田中藤三郎	ワタナベ電機(株)	電気製品販売、工事	金屋3丁目2—5	2—0662	
	辻 伝造	(有)ホテルミッチー	旅館	妙法寺町883—3	2—0967	
	辻川 敬一	(有)辻川一六堂	印刷、印刷	栄町3—24	2—2299	
	富田 芳雄	中日本観光(株)	旅行斡旋	金屋1丁目4—7	2—1284	
	中沢新三郎	中沢製作所	電気部品加工	市辺町934	2—6473	
	中村 秀敏	(株)招福楼	料理、旅館	本町8—11	2—0003	
	西沢喜兵衛	西喜重工(株)	自動車整備	八日市町4—20	2—1063	
	西沢 高弘	吉勝	料理	本町12—3	2—0243	
	西田 芳夫	西田印刷所	印刷業	清水1丁目9—10	2—0124	
	野田 貞夫	一二三堂	菓子製造販売	栄町3—10	2—0556	
	畑 喜内	(株)国華商会	自転車卸	浜野町3—10	2—0567	
	顧 問	広瀬 喜文	近江バス(株)八日市営業所	旅客輸送	外町若松630	2—5511
		深尾寅之助	深尾商店	衣料品卸	浜野町7—17	2—0348
二橋 貞雄		太陽コンクリート工業(株)	生コン製造	建部下野町16	3—3211	
前田 春吉		(有)前田クリーニング商会	クリーニング業	浜野町7—21	2—0787	
回瀧 治二		(株)花治商店	生花販売	金屋3丁目1—4	2—1604	
三原貞次郎		三原屋呉服店	呉服販売	本町17—10	2—0175	
村田 梅吉		村田石油(株)	石油製品販売	昭和町1—15	3—0851	
村防 龍雄		村防工業(株)	さく泉工業	上平木町1850—1	2—6611	
山田正次郎		八日市市長		金屋2丁目	3—0745	
北川 弥助		県議会議員		五個荘町伊野部	(074848) 2537	
参 与	岡崎 耕平	商工会議所元会頭		野々宮町2—7	2—0089	
	二橋貞治郎	" 前会頭		金屋1丁目3—3	3—2840	
	森井 滸	" 元専務理事		栄町	2—0645	
	北村繁太郎	" 前専務理事		本町10—3	2—0475	

